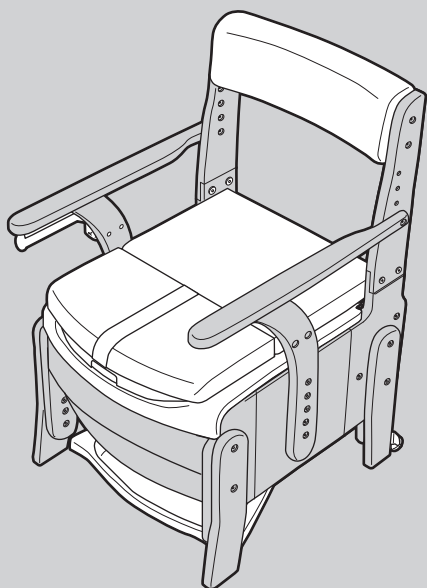
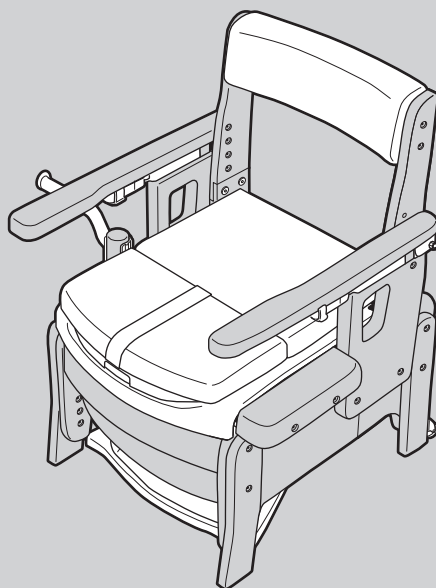




家具調トイレセレクトR
自動ラップ2 ノーマルタイプ



家具調トイレセレクトR
自動ラップ2 はねあげタイプ

標準便座

ソフト便座

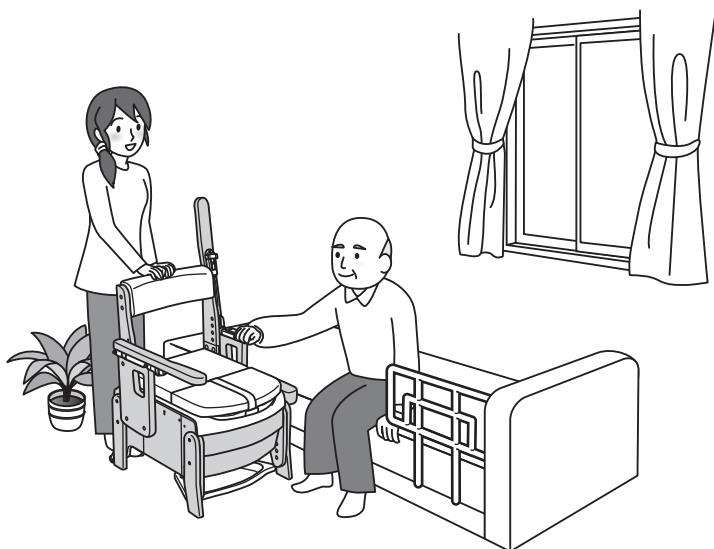
暖房便座

最大使用者体重：100kg

ご使用前にこの取扱説明書と保証書をお読みください。

このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・取扱説明書を読んだあとは必ず保管してください。



保存版
(保証書付)

もくじ



確認しましょう P.2～6

- ・購入品と梱包品の確認…………… 2
- ・各部の名称…………… 3～4
- ・商品の寸法図と仕様…………… 5～6



安全上のご注意 P.7～12



ご使用の前に P.13～23

- ・ポータブルトイレ本体各部の調節をしましょう…………… 13～16
 - 設定の目安…………… 13
 - 便座高さ調節のしかた…………… 13～14
 - 背もたれの位置調節のしかた…………… 14
 - ひじ掛け高さ調節のしかた…………… 15～16
- ・移乗スパーサーを取り付けましょう…………… 16
- ・ペーパーホルダーを取り付けましょう…………… 17
- ・便座シートを取り付けましょう…………… 18
- ・ラップユニットの準備をしましょう…………… 19～20
- ・ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう…………… 20～23
- ・リモコンを取り付けましょう…………… 23



使いましょう P.24～31

- ・使いかた…………… 24～31
 - 使用前の準備のしかた…………… 24
 - 汚物処理のしかた…………… 25
 - ラップのし直しかた…………… 26
 - フィルムカセット交換の案内…………… 26
 - フィルムカセットの交換のしかた…………… 27～28
 - 移動のしかた…………… 29
 - ひじ掛けのはね上げかた…………… 30
 - こんな使いかたができます…………… 31



バケツ使用の場合 P.32～36

- ・バケツで処理をする準備をしましょう…………… 32～33
- ・使いかた…………… 34～36
 - 使用前の準備のしかた…………… 34
 - バケツでの汚物処理のしかた…………… 34～35
 - バケツ利用からラップユニット利用への戻し方…………… 35～36



お手入れしましょう P.36～42

- ・お掃除のしかた…………… 36～40
- ・点検のしかた…………… 41
- ・交換部品…………… 42



各種機能／暖房便座 P.43～44

- ・組み立てかた…………… 43
- ・暖房便座について…………… 44
- ・使いかた…………… 44



困ったときには P.45～51

- ・よくあるご質問…………… 45
- ・ラップユニットのエラー…………… 46
- ・故障かな？と思ったら…………… 47～50
- ・保証とアフターサービス…………… 51

👉 確認しましょう

購入品と梱包品の確認

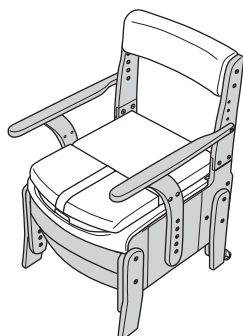
梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認しましょう。



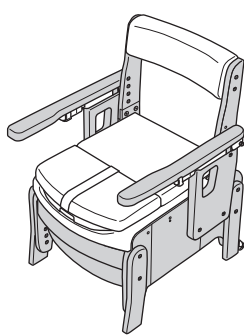
ご購入いただきました製品によって、梱包品、および確認していただくページが異なります。組み立てる前に、購入した製品にレ点を付け、ご確認をお願いいたします。

本体

☐ ノーマルタイプ

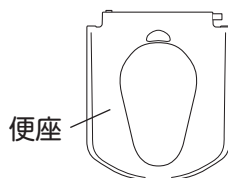


☐ はねあげタイプ

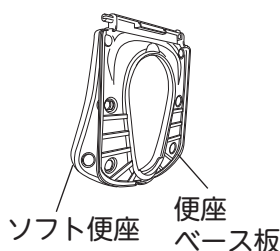


便座の種類

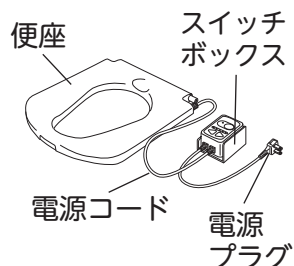
☐ 標準便座



☐ ソフト便座



☐ 暖房便座



別売品（消耗品）

自動ラップ
ポータブルトイレ
専用凝固剤
(約 60 回分)



自動ラップ/自動ラップ2
兼用フィルムカセット
(約 60 回分)



ひじ掛けの種類

☐ ノーマルタイプ

ペーパーホルダー
軸受け



ペーパーホルダー



ペーパーホルダー
軸受け
固定用ボルト
(M6 × 15mm)

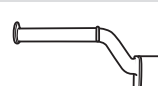


☐ はねあげタイプ

ペーパー
ホルダー台座



ペーパーホルダー



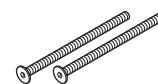
ペーパーホルダー
台座
固定用ボルト
(M6 × 60mm)



移乗
スペーサー



移乗スペーサー
固定用ボルト
2本
(M6 × 80mm)

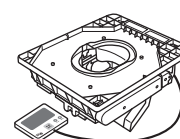


全タイプ共通

フィルム
セッター



ラップユニット
(リモコン)



バケツ
(バケツ蓋)



止水カバー



バケツ受け



ラップ受け
トレー



面ファスナー



電源
コード



AC
アダプター



六角レンチ
2本



リモコンフック
固定用
ネジ各 1 個



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🪣バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔌各種機能暖房便座

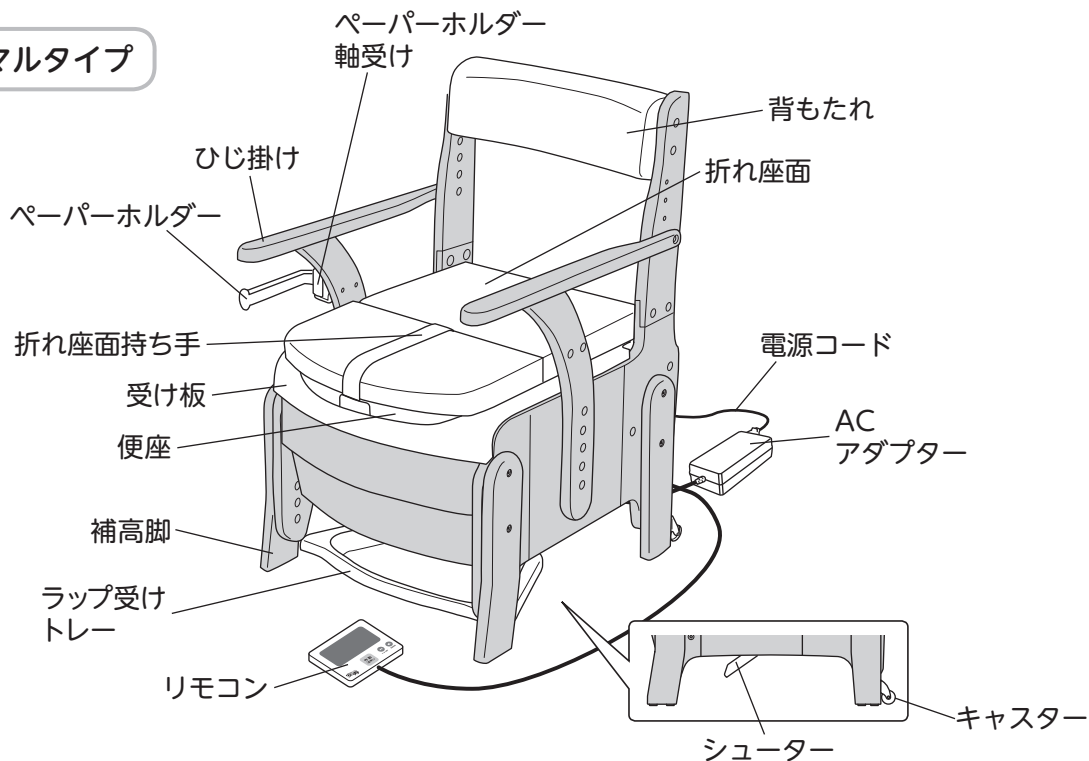
？困ったときには

👉 確認しましょう

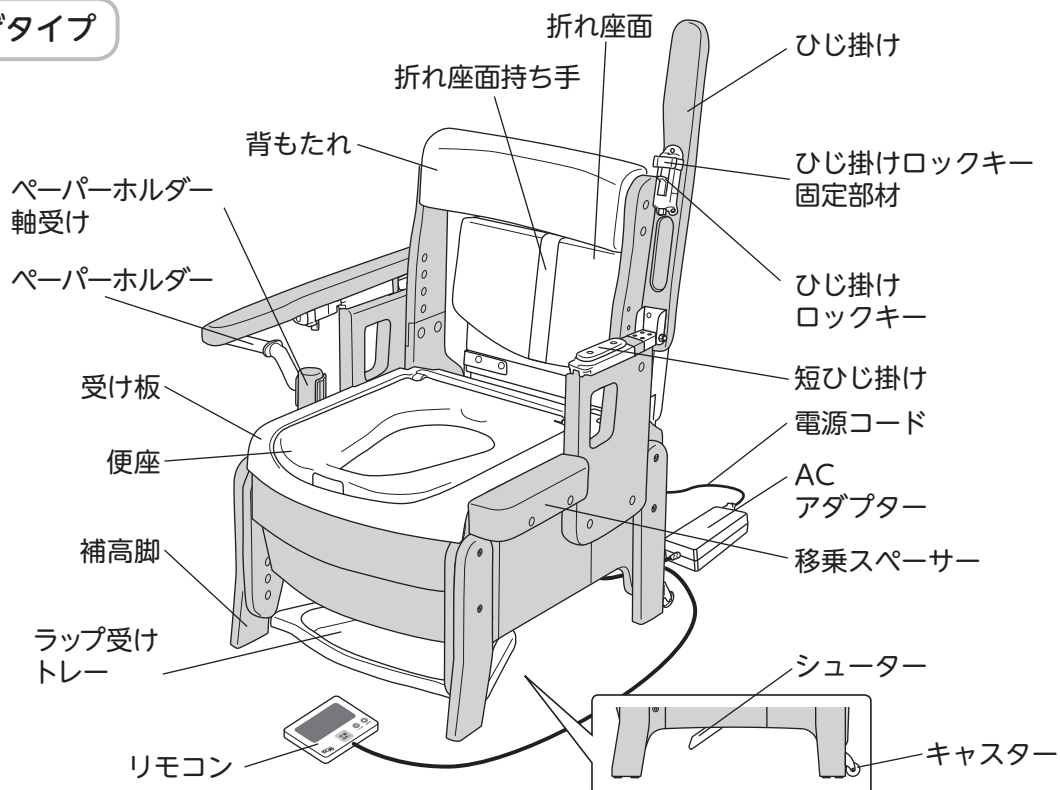
各部の名称

■本体のなまえ

ノーマルタイプ



はねあげタイプ



確認しましょう

！安全上の注意

✳️ご使用の前に

👉使いましゅう

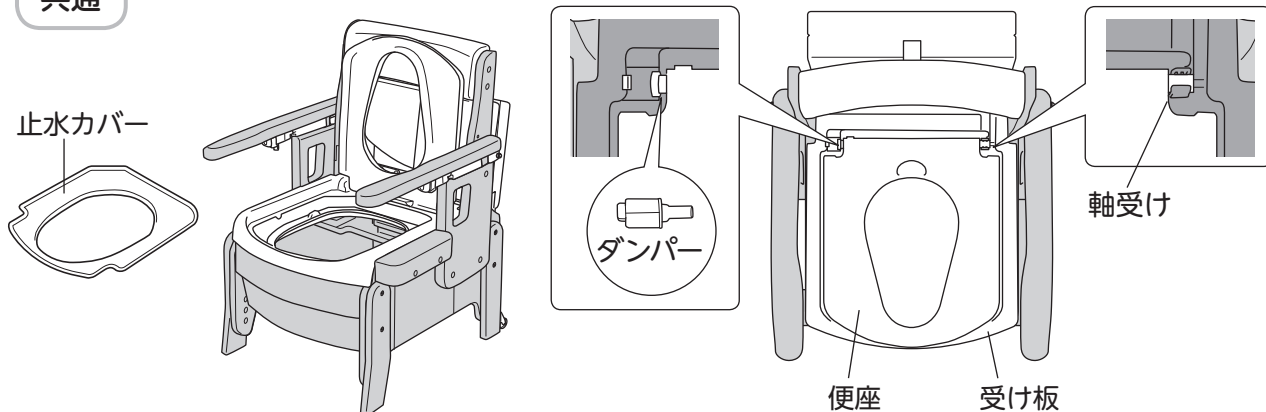
👤バケツ使用の場合

🔥お手入れしましょう

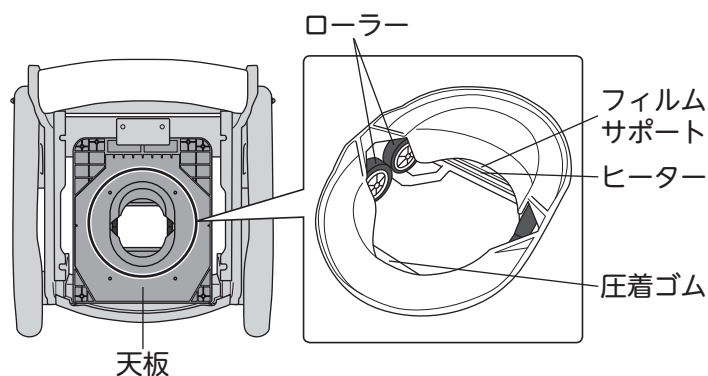
🔥各種機能暖房便座

？困ったときには

共通



■ラップユニット



■リモコン

ラップ処理中に点滅します。

フィルム送りに点滅します。

フィルム交換が必要な時に点滅します

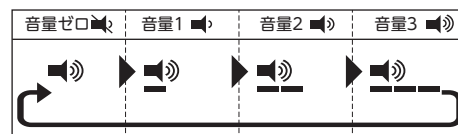
使用回数の案内時に点灯します。

エラーが生じた時に点滅します。

ラップ圧着処理を表示する時に点灯します。



※音量ボタン操作時の画面表示



使用回数、ラップの処理時間、エラーの番号等を表示します。

ボタン	操作方法	操作内容
作動 (長押し)	1 秒以上 長押し	ボタンを押すと作動中ランプが点灯し、ラップ処理（フィルム送り、フィルムの圧着、フィルムの切断）を開始します。表示画面にはラップ処理終了までの時間が表示され、終了すると音声案内が流れます。

ボタン	操作方法	操作内容
フィルム送り	1 秒以上 長押し	ボタンを押している間、ローラーが駆動し、フィルムを送ります。1 度の長押しで送られるフィルムの最大長さは20cmです。
音量設定	ワンプッシュ	ボタンを1回押すと音量が一段階大きくなります。最大音量の次には音量0になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔥各種機能 暖房便座

？困ったときには

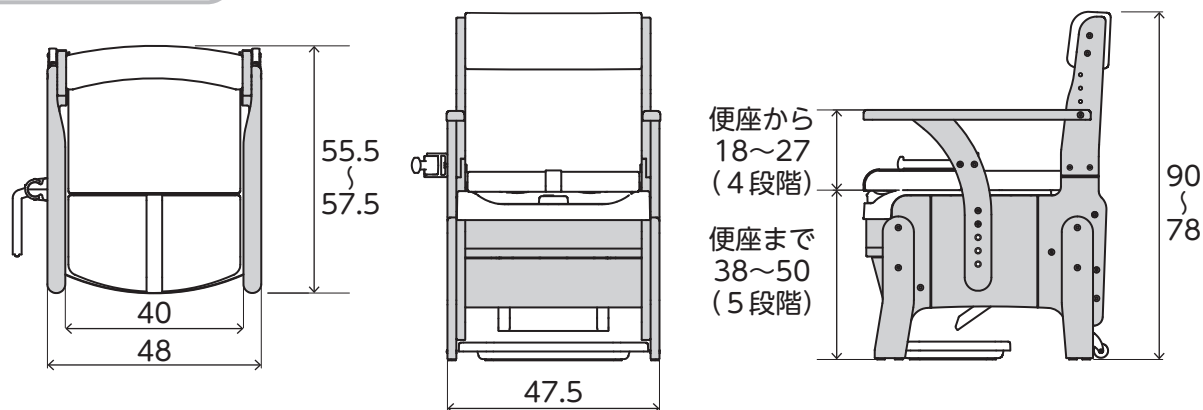
👉 確認しましょう

商品の寸法図と仕様

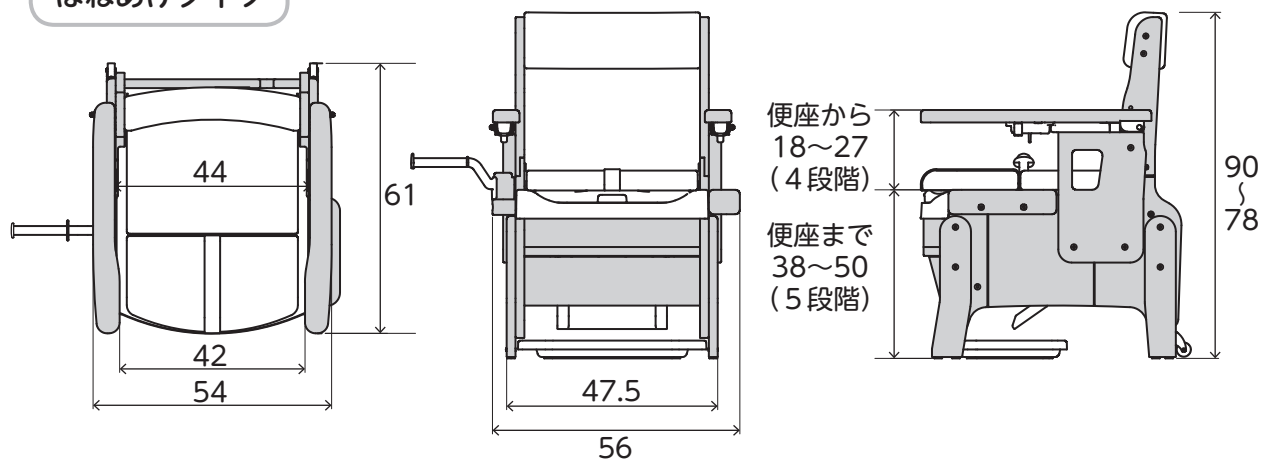
商品寸法図

単位：cm

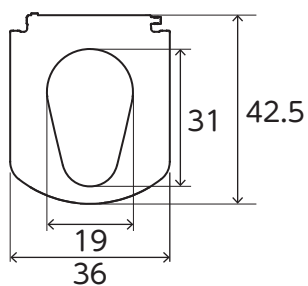
ノーマルタイプ



はねあげタイプ



共 通



🔍 確認しましょう

⚠️ 安全上のご注意ください

✖️ ご使用の前に

💡 使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

🔥 お手入れしましょう

🔥 各種機能暖房便座

❓ 困ったときには

仕様

■全タイプ共通

品 名		家具調トイレセレクトR 自動ラップ2		
構 成 部 材	全タイプ共通	部 品 名	材 質	
		構造部材	天然木（ラバーウッド）	
		表面加工	ウレタン樹脂塗装	
		張り材	合成皮革（PVC）	
		クッション材	ウレタンフォーム	
		受け板・バケツ・止水カバー・バケツ受け	ポリプロピレン	
		ラップユニット	ポリプロピレン /ABS 樹脂	
	標準便座タイプ 暖房便座タイプ	便座	ポリプロピレン （抗菌加工）	
	ソフト便座タイプ	便座	EVA 樹脂（抗菌加工）	
		便座ベース板	ポリプロピレン	
サイズ		ノーマル	幅 48 ×奥行 55.5 ～ 57.5 ×高さ 78 ～ 90cm（便座高 38・41・44・47・50cm）	
		はねあげ	幅 54 ×奥行 61 ×高さ 78 ～ 90cm（便座高 38・41・44・47・50cm）	
重 量			ノーマル	はねあげ
	標準便座タイプ		約 19.0kg	約 22.0kg
	ソフト便座タイプ		約 19.0kg	約 22.0kg
	暖房便座タイプ		約 19.5kg	約 23.0kg

■暖房便座タイプ

材 質	便座・裏板	ポリプロピレン
	スイッチボックス・ホルダー	ABS樹脂
定 格	（電源電圧）入力：AC100V・50/60Hz	
消費電力	約53W	
表面温度	温度調節範囲約30～40℃	
発 熱 体	コードヒーター	
コード長	本体側約0.9m、電源側約1.6m	
安全装置	温度ヒューズ	

■ラップユニット

定 格	75W 以下 電源電圧入力：AC100V ± 10V（AC アダプター使用）または、DC13.5V ± 1V（電圧ドロップ含む）
消費電力	動作時：75W/ 待機時：5W 以下
コード長	1.8 m
安全装置	挟み込み防止機能、温度ヒューズ

標準便座



SIAAマークは ISO 22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

※ソフト便座、暖房便座は抗菌加工済みです。

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容です。**思わぬ事故（転倒、けが、故障、破損など）の原因となりますので、必ずお守りください。**

アイコンの説明



電気使用注意



暖房便座注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

毎回ご使用の前にネジやボルトがゆるんでいないか、各部にガタつきなど、異常がないか点検すること



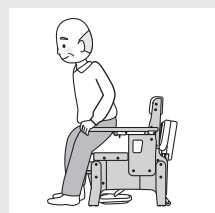
詳しくは…P.41へ

車いすから移乗する場合は、車いすのブレーキをかけてから移乗すること

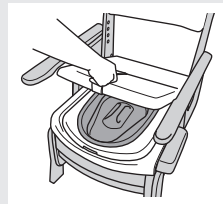


ブレーキをかけていないと、車いすが動きだし、転倒やけがの原因になります。

本体に体を十分に近づけてから座ること



折れ座面の開閉は必ず持ち手部を持って行うこと



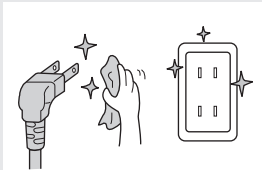
別の部分を持って行くと、指を挟む原因になります。



暖房便座／ラップユニット

電源プラグ、コンセントはきれいにすること

電源プラグの刃および刃の取付面やコンセント差し込み部にほこりがついている場合はよくふいてください。火災の原因になります。



電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込むこと

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。



製品を移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードをまとめてから移動すること

コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。



電源プラグを抜く

雷が発生しているときは電源プラグを抜くこと

故障の原因になります。



電源プラグを抜く



便座の暖房機能による低温やけどに注意すること

比較的低い温度でも長時間、皮膚の同じ場所に便座が触れていると低温やけどのおそれがあります。

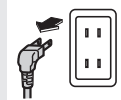
詳しくは…P.44へ

次のときは電源プラグを抜くこと



電源プラグを抜く

- ・長期間使用しないとき
- ・お手入れするとき
- ・各部の調節をするとき
- ・焦げくさいなど異常があるとき



感電・事故の原因になります。

確認しましょう

！ 安全上のご注意

✖ ご使用の前に

♡ 使いましょう

🔌 バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔌 各種機能暖房便座

？ 困ったときには



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

絶対に分解・改造をしないこと



分解禁止

本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

暖房便座、ラップユニットを分解・改造すると、感電、ショート、火災の原因になります。

故障したままで使いつづけないこと

故障とは…

- ・異音、異臭がしている
- ・製品が異常に熱い
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・製品から煙がでている …など

故障したまま使いつづけると、けがや火災・感電の原因になります。

すぐに使用を中止し、販売店に連絡してください。

介助者がいない場合、自分自身の身体を十分に安定させられないときは使用しないこと

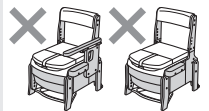
ふらつきがある方など



正常でない状態では使用しないこと

- ・脚を取り外している状態
- ・脚の高さが左右で異なる状態
- ・各部のボルトがゆるんでいる状態
- ・受け板を外している状態
- ・（ラップユニット使用時）止水カバーを外している状態
- ・（バケツ使用時）バケツ受けを外している状態
- ・（ノーマル）両方のひじ掛けを外している状態
- ・（はねあげ）ひじ掛けを外している状態 …など

（はねあげ）（ノーマル）

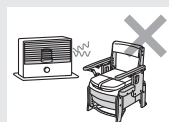


体重が 100kg を超える方は使用しないこと



不安定な場所や、近くに火気や水気がある場所には設置しないこと

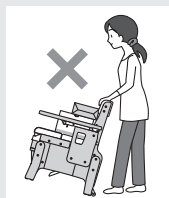
- ・浴室など湿気の多い場所
- ・ストーブなど火気が近くにある場所
- ・直射日光の当る場所
- ・床が平坦ではなく不安定な場所



火災・変形・変色などが起こり、場合によっては転倒やけがの原因になります。

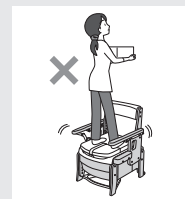
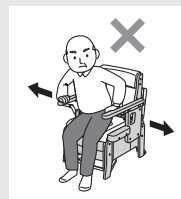
人を座らせたり、物を乗せたまま移動させないこと

- ・ラップユニット内や、バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させる …など



製品に過度な力を加えないこと

- ・移動時に、ひじ掛けや背もたれを手すり代わりにする
- ・立ち座り時にひじ掛けに全体重がかかるような過度な横方向の力を加える
- ・便座・座面の上に立つ
- ・折りたたんだ座面に力を加える
- ・製品を落とす
- ・ひじ掛けの上に腰かける …など



立ち座り時にペーパーホルダーを手すり代わりにしないこと



子どもを遊ばせるなど、ほかの用途では使用しないこと



商品梱包用のポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと

幼児がかぶると窒息するおそれがあります。

確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能暖房便座

？困ったときには

！ 安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘



暖房便座／ラップユニット

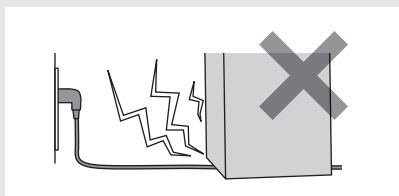
電源プラグ・電源コードが破損するようなことをしないこと

また、電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるんだ状態で使用しないこと

下記のことを行くと、電源プラグや電源コードが傷つきます。

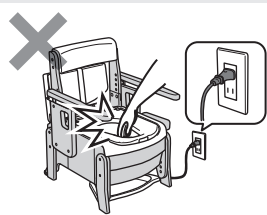
- 重い物をのせる
- ドアのすき間などに挟む
- 加工する
- 折り曲げる
- 無理に束ねる
- 熱器具に近づける
- 電源コードを引っ張ってポータブルトイレを移動させる
- 電源プラグを差したまま移動させる
- コードを無理に引っ張る
- 指定外の電源コードを使用する

電源プラグや電源コードが傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



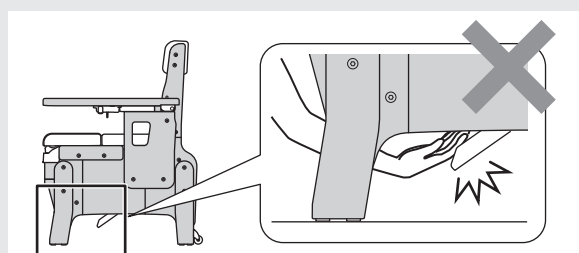
電源プラグを差した状態でトイレの中に手を入れないこと

ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。



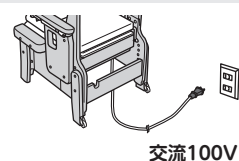
**本体の下のラップユニット
開口部から手をいれないこと**

けがや火傷の原因になります。



配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外では使用しないこと

ほかの器具と併用し、定格を超えると、配線器具が異常発熱して、火災の原因になります。



以下の場所に尿や水をかけないこと

感電・ショート・火災の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電やけがの原因になります。



凝固剤は口に入れないこと

凝固剤は飲食物ではありません。

詳しくは凝固剤の使用上の注意にしてください。

確認しましょう

！ 安全上のご注意

✖ ご使用の前に

♡ 使いましょう

場合 バケツ使用の

お手入れ しましょう

各種機能 暖房便座

？ 困ったときには



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！



暖房便座／ラップユニット

長時間使用していない場合は、使用前に必ず作動確認を行うこと

暖房便座は…P.43 へ

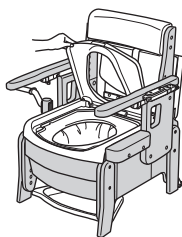
ラップユニットは…P.19 へ



ラップ済みのフィルムが下に残っていない状態で使用すること

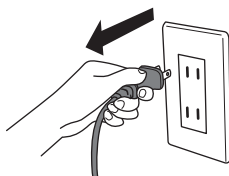


ご使用前には必ずフィルムの有無を確認すること



フィルムカセットを取り付けるときは電源プラグを抜くこと

誤って作動したときに、手や指を挟み、けがや火傷の原因になります。



フィルムはフィルムセッターを使用して正しくセットすること

フィルムが外れたり、左右のバランスが悪くなり、ラップの圧着不良の原因になります。

詳しくは…P.21 へ

新しいフィルムカセットを取り付けたら、必ずフィルムの初期設定をすること

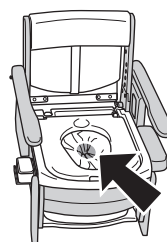
初期設定をしないと、袋の底がラップされないために汚物が漏れて製品故障の原因になります。

詳しくは…P.20 へ

便座に深く腰かけて使用すること



使用済みのトイレットペーパーなどは中央の穴部へ入れること



フィルムカセットを装着した状態でキャスターを使った移動など、トイレを傾けたときは、フィルムカセットが正しくセットされているか確認すること

トイレを傾けるとフィルムカセットがずれてしまう場合があります。正常にフィルムがラップされなくなる原因になります。

●ご使用前に以下のことを確認してください。

- ・フィルムがローラーに挟まっていること → 詳しくは P.21 「4. フィルムセッターを使用してフィルムのセットをします」をご確認ください。
- ・受け板が正しく取り付けられていること → 詳しくは P.22 「5. ①」をご確認ください。
- ・止水カバーの位置が正しいこと → 詳しくは P.22 「5. ②」をご確認ください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔌各種機能暖房便座

？困ったときには

！ 安全上のご注意



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

(バケツ使用時) バケツに水や汚物が入っている状態で、本体を移動させたり、便座の高さを調節しないこと

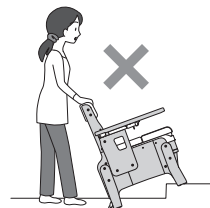


落としたり強い衝撃を加えないこと

凝固剤は指定された量を超えて投入しないこと

大量に投入すると凝固剤がローラーに巻き込まれ、製品故障の原因になります。

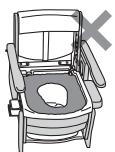
無理な段差や凹凸面では、キャスター移動を行わないこと



暖房便座／ラップユニット

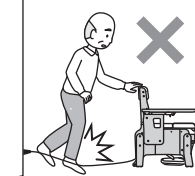
(暖房便座には) 便座カバー・シートは取り付けないこと

便座カバー・シートが劣化する原因になります。



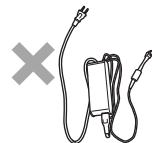
電源コード・リモコンのコードを移動経路上に設置しないこと

コードにつまづいてけがの原因や、製品故障の原因になります。



専用の AC アダプター以外は使用しないこと

感電、ショート、火災の原因になります。



専用のフィルムカセット以外は使用しないこと

専用の凝固剤以外は使用しないこと

確認しましょう

！ 安全上のご注意

✖ ご使用の前に

♡ 使いましょう

📦 バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔌 各種機能暖房便座

？ 困ったときには

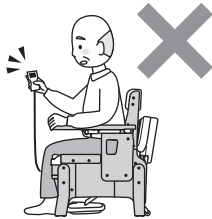


注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

❌ 絶対にしないこと ❌

便座に腰かけた状態でラップユニットを作動させないこと



濡れたり、汚れたままにしないこと

汚物をラップしないまま移動させないこと



バケツ蓋をバケツや便座に取り付けた状態で座らないこと



●お手入れ・保管時の注意 以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

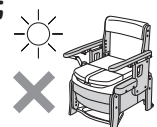
- ・シンナー ・クレゾール ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
 - ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの
- 製品が劣化し、破損の原因になります。



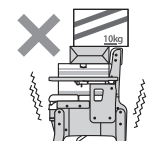
直接水をかけて洗わないこと

ラップユニットの破損、木部分の劣化・塗装の剥がれの原因になります。

屋外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと



製品の上に重量物をのせた状態で保管しないこと



ちりやほこりが多いところに設置、保管しないこと

確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔥各種機能暖房便座

？困ったときには

✳ ご使用の前に

ポータブルトイレ本体各部の調節をしましょう

設定の目安

- ご使用される方の体格や症状に合わせて、便座の高さやひじ掛けの高さを調節してください。
- 排泄や移乗を行いやすいよう、利用する方の体格に合った設定をしてください。
また、調節はお買い上げの販売店、ケアマネジャーなど専門家に相談することをおすすめします。
- 便座高さは 38・41・44・47・50cm、ひじ掛け高さは 18・21・24・27cm に調節することができます。
- 背もたれは、前側・後側の 2 段階調節ができます。
- 一度調節した後でも再度調節することができますので、実際に着座および立ち上がり動作を行い、適切な高さに調節してください。



便座高さ調節のしかた

※ラップユニットのフィルムをセットしている場合は、一度フィルムを外してください。フィルムカセットのズレや落下する原因になります。

高さ調節する際は、本体を寄りかけられる場所（壁など）に、タオルなどを当てた状態でそっと寄りかけ、しっかり支えた状態で作業を行ってください。

製品を
しっかり支える
壁面などに
タオルを当てて
製品を寄りかける



注意



便座高さの調節は、必ず本体を寄りかけ、支えた状態で行うこと

手を挟んだり、本体が転倒して破損する原因になります。

※開梱時は、便座高さ 38cm に設定されています。

①付属の六角レンチで補高脚固定用ボルトをゆるめて、補高脚を本体から取り外します。

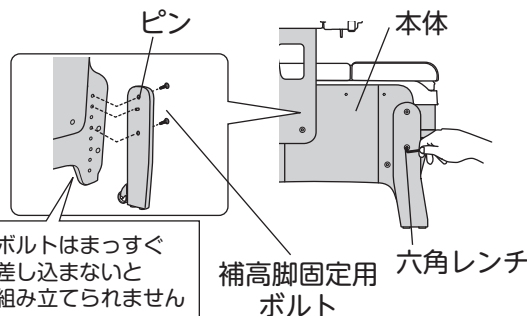
②設定したい高さの穴に補高脚中央の金属ピンを差し込んで位置決めし、補高脚固定用ボルト 2 本で仮固定します。

※はじめにボルトを完全に締め付けずに取り付け、最後に完全に締め付けると効率よく組み立てられます。

※補高脚は絶対に前後、あるいは左右の入替えをしないでください。

③ 4 本の補高脚を仮固定した後、本体を起こしてから補高脚固定用ボルトを最後まで締め付けて確実に固定します。

※本体を床に設置後、補高脚がガタつくようなら、補高脚を固定している補高脚固定用ボルトを一度ゆるめてから、再度締め直してください。



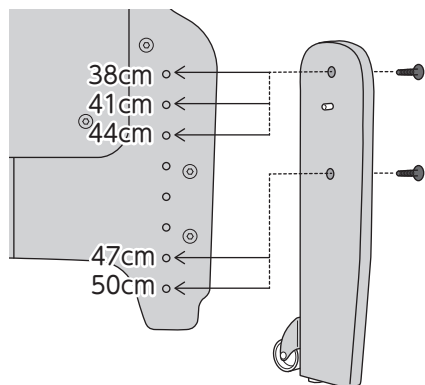
注意



補高脚は4本の補高脚が同じ高さになるようにし、補高脚固定用ボルトで確実に固定すること

補高脚を取り外した状態で使用しないこと

本体が不安定になり、転倒したり、けがの原因になります。

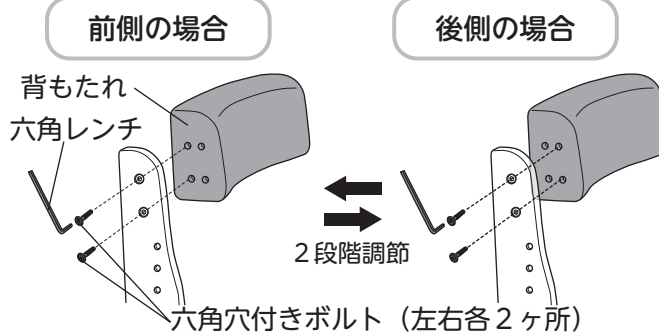


低い高さに設定するときは、補高脚の上側の穴を基準にする、
高い高さに設定するときは、補高脚の下側の穴を基準にする
と調節がスムーズに行えます。

背もたれの位置調節のしかた

●背もたれは、前側・後側の2段階調節ができます。

- ①付属の六角レンチで、六角穴付きボルトをゆるめ（4ヶ所）、背もたれを外してください。
- ②背もたれを調節したい位置のネジ穴と合わせ、六角穴付きボルトを差し込み仮固定した後、ボルトをしめて固定します。（4ヶ所）



注意



取り付け後に、ボルトがしっかりしめられているか、また、しめ忘れはないか確認すること

確認しましょう

！安全上の注意

✖使用の前に

♡使いましょう

🗑バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔥各種機能暖房使用

？困ったときには

✳ ご使用の前に

ひじ掛け高さ調節のしかた

ひじ掛けの高さは4段階（18・21・24・27cm）に調節することができます。

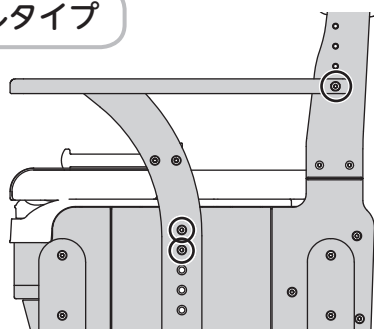
ご使用になる方の症状や体格に応じて、ひじ掛けの高さを調節してください。

※はじめにボルトを完全に締め付けずに取り付け、最後に完全に締め付けると効率よく組み立てられます。

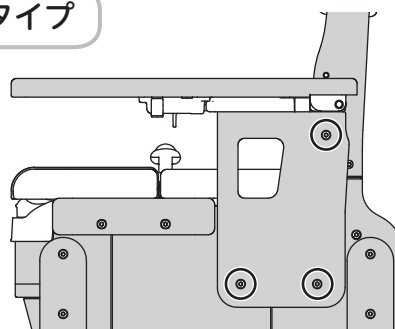
※開梱時は、ひじ掛け高さ 24cm に設定されています。

1. ひじ掛けのひじ掛け固定用ボルト（片側3本ずつ）を六角レンチで取り外します

ノーマルタイプ

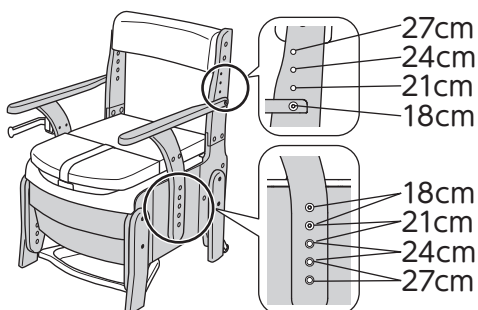


はねあげタイプ

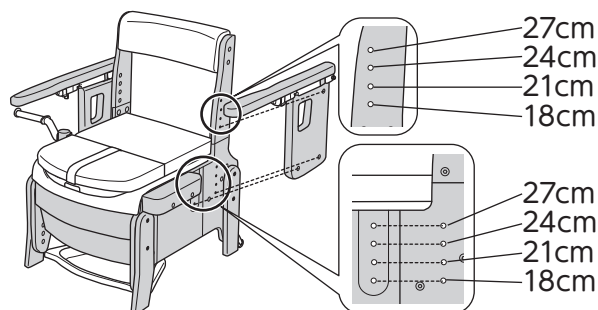


2. 調節したい高さにひじ掛けの穴と本体の穴を合わせます

ノーマルタイプ



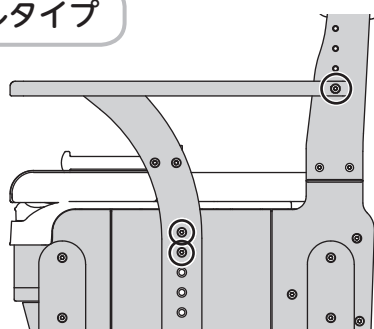
はねあげタイプ



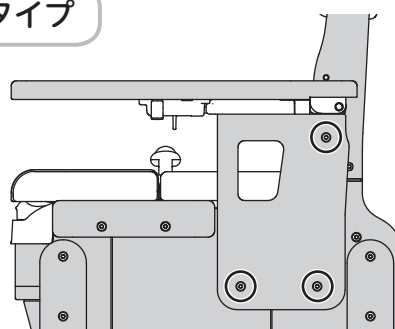
※図は 18cm に合わせた場合

3. ひじ掛け固定用ボルト（片側3本ずつ）を六角レンチでしめて、ひじ掛けを固定します

ノーマルタイプ



はねあげタイプ



確認しましょう

！安全上の注意

✳ ご使用の前に

使いましょう

場合 バケット使用の

お手入れ

暖房機能

？困ったときには

注意



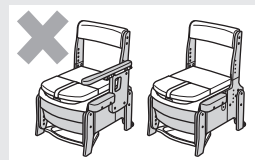
ひじ掛けはひじ掛け固定用ボルトで確実に固定すること

ノーマルタイプは片側のひじ掛けは必ず取り付けられた状態で使うこと

転倒、けが、故障、破損の原因になります。

はねあげタイプはひじ掛けを取り外して使用しないこと

転倒、けが、故障、破損の原因になります。



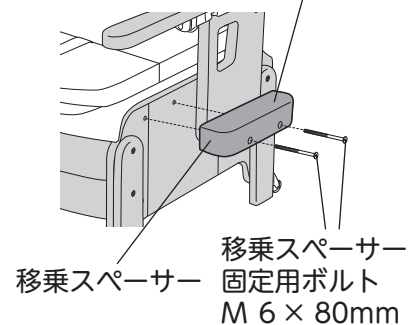
移乗スパーサーを取り付けましょう

- 移乗スパーサーはベッドとのすき間を埋めるものです。本体の片側に移乗スパーサーを取り付けることができ、より安心して移乗できます。
- ベッドから乗り移る側に移乗スパーサーを取り付けてください。

ベッドの位置に合わせて、取り付け位置を左右から選択し、本体側面のネジ穴に移乗スパーサー固定用ボルト（2本）で取り付けます。

※はねあげタイプのみ

受け板と同じ高さになるように向きを合わせて取り付けてください。



注意



移乗スパーサーは、移乗スパーサー固定用ボルトでしっかり取り付けること

固定ボルトがゆるんでガタついた状態で使用すると、製品が破損し、転倒やけがの原因になります。

移乗スパーサーを使用している場合はベッドの高さを変えないこと

移乗スパーサーがベッドのフレームに乗り上げて、転倒やけがの原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

🗑 バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔥 各種機能暖房使用

？困ったときには

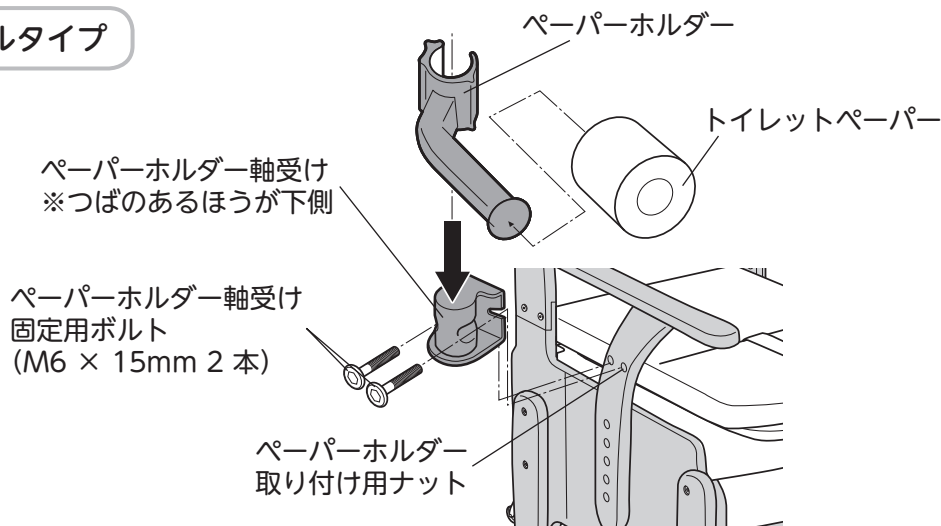
✳ ご使用の前に

ペーパーホルダーを取り付けましょう

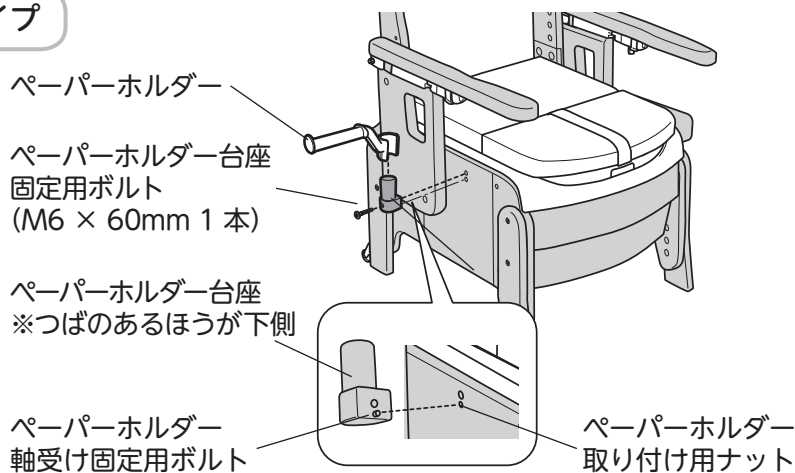
ご使用状況に応じて、取り付け位置を本体側面の左右で選択できます。

- ①取り付けたい側のペーパーホルダー取り付け用ナットに軸受け（台座）を固定用ボルトで取り付けます。（上下の向きに注意して取り付けてください）
- ②軸受け（台座）にペーパーホルダーを差し込みます。

ノーマルタイプ



はねあげタイプ



警告



ペーパーホルダーを手すり代わりにしないこと
転倒、けが、故障、破損の原因になります。

注意



ペーパーホルダーにはトイレットペーパー以外のものをかけないこと
ペーパーホルダーが外れる原因になります。

確認しましょう

！安全上の注意

✳ ご使用の前に

使いまししょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能暖房便座

？困ったときには

便座シートを取り付けましょう

※標準便座タイプのみ取り付けられます。

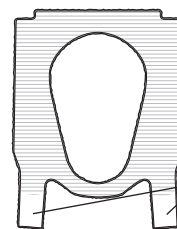
1. 便座のホコリなどをふきとります

便座のホコリや水気、汚れなどをよくふきとります。

※便座に除菌クリーナーを使用された場合は、一旦水拭きし、乾かしてからご使用ください。
(吸着力が弱くなります)

2. 保護フィルムを剥がします

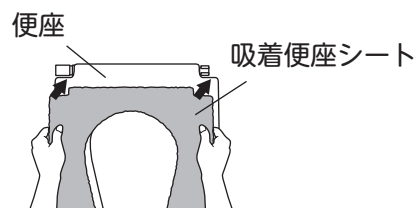
吸着便座シート裏面の保護フィルムを剥がします。



保護フィルムが残る場合があります。完全に剥がしてください。

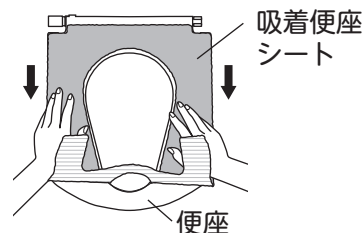
3. 便座に吸着便座シートを合わせます

便座後側の角部に吸着便座シートの角部を図のように合わせます。



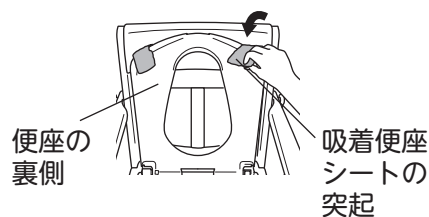
4. 吸着便座シートを便座に貼りつけます

便座上面に沿わせるようにして吸着便座シートを便座に貼りつけます。



5. 吸着便座シートを便座の裏面に巻き込み、貼りつけます

- ①便座を上げます。
- ②吸着便座シートの突起を図のように便座の裏側に巻き込み、突起を便座の裏側に貼りつけます。



便座を本体から外して、吸着便座シートを取り付けることもできます。

便座の取り外し方は…P.37へ

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能暖房便座

？困ったときには

✳ ご使用の前に（ラップユニット使用の場合）

ラップユニットの準備をしましょう

※汚物処理はバケツで行うこともできます。
消耗品のフィルムがなくなったとき／停電のとき／
ラップユニットが故障したとき

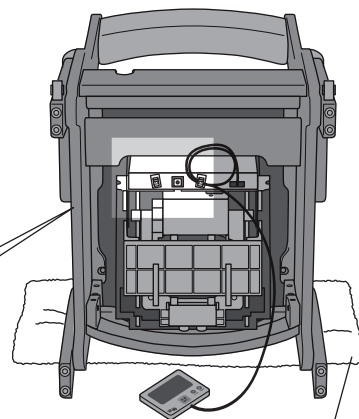
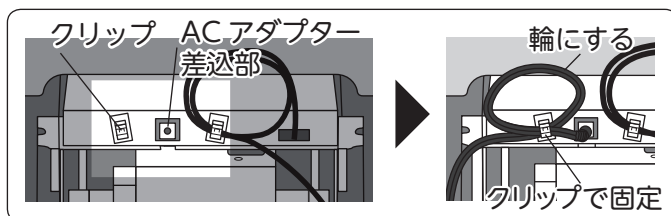
付属のバケツおよびバケツ受けはすぐに取り出せる
場所に保管しておいてください。

バケツでの汚物処理準備のしかたは…P. 32へ

1. ACアダプターを取り付け、コードを固定する

タオルなど、やわらかいものを敷いた上に、本体を前方に倒して、ACアダプターのコネクタを本体差込部に奥まで差し込みます。

その後、コードをクリップで固定してください。
（コードは急に力がかかっても差込部から抜けないよう、図のように輪にしてとめてください）

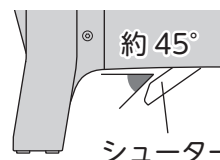
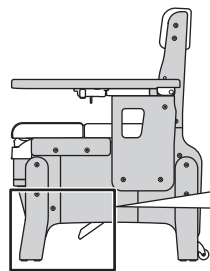
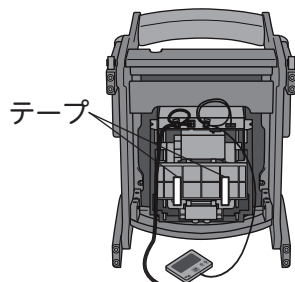


タオルなど
やわらかいもの

2. シューターを開く

①シューター固定用のテープ2本を取り外し、本体を起こします。

②シューターが約45°開いたところで自然にとまることを確認してください。

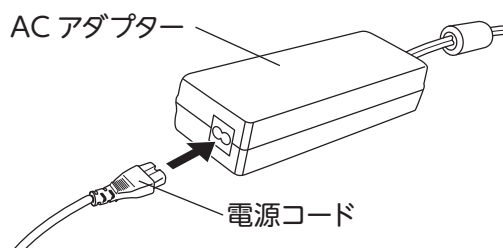
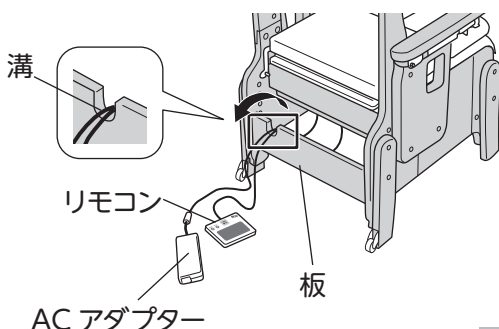


※シューターが外れていた場合は、シューターを広げながらラップユニットに取り付けてください。

3. ACアダプターとリモコンのコードを本体後方から通します

①本体後方の板のすき間からACアダプターとリモコンを通し、コードが溝を通るようにします。

②ACアダプターに電源コードを接続してください。



確認しましょう

！安全上のご注意

✳ ご使用の前に

使いましゅう

バケツ使用の場合

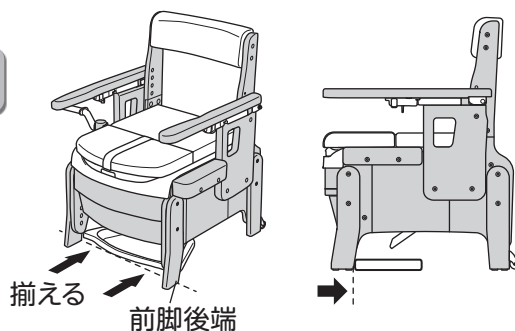
お手入れしましょう

各種機能暖房使用

？困ったときには

4. ラップ受けトレイを設置します

トイレの設置位置が決まったら、前脚後端とラップ受けトレイの前方が揃うようにラップ受けトレイを設置してください。



ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう

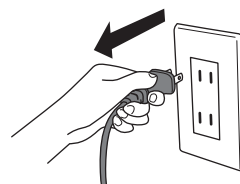
1. 電源プラグをコンセントから抜いてください

警告



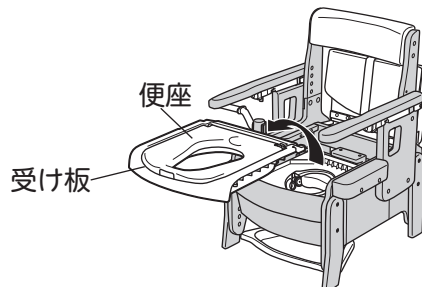
電源プラグを差した状態でトイレの中に手を入れないこと

ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。また、通電している部分に触れ、感電やショートの原因になります。



2. 受け板ごと、便座と止水カバーをはずします

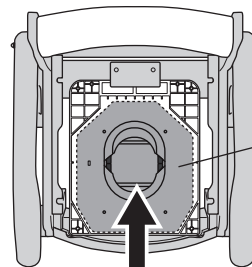
※止水カバーは受け板と便座の間に入っています。



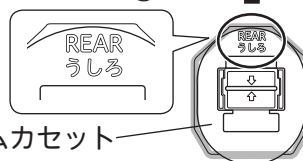
3. フィルムカセットをラップユニット天面にのせます

①フィルムカセットの「うしろ」の表示を背もたれ側にセットします。

②フィルムカセットの底面とラップユニットの天面が八角形の溝にはまっていることを確認してください。



フィルムカセットがはまる天面は八角形になっています



フィルムカセットの底面は八角形になっています。



フィルムカセットは当社製のものを正しくご利用ください。
他メーカーのフィルムカセットの場合や、ラップユニットの天面にのせる向きを間違えてしまうと、使用することができません。

確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

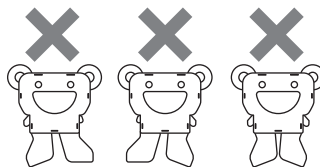
🔥 各種機能暖房便座

？困ったときには

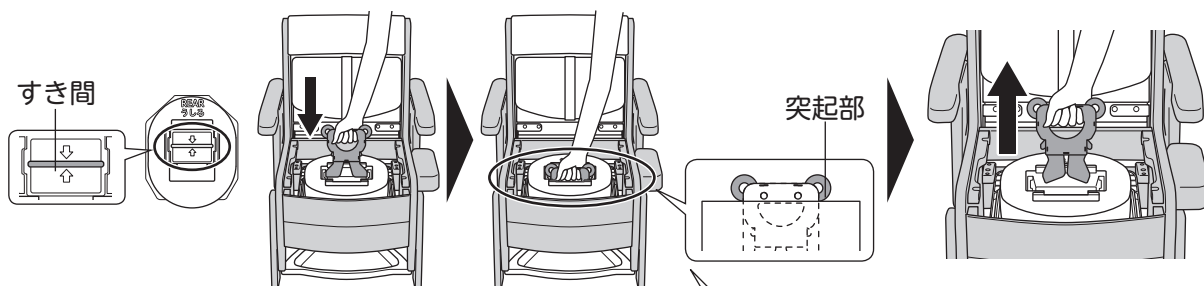
✳ ご使用の前に（ラップユニット使用の場合）

4. フィルムセッターを使用してフィルムのセットをします

① フィルムセッターを下図の○のような形になるように準備します。

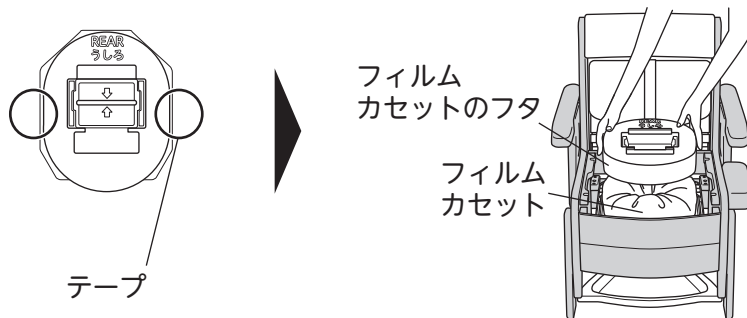


② フィルムセッターをフィルムカセット中央のすき間に差し込んでから垂直に抜きます。



フィルムセッターの突起部がフィルムカセットに接触するまで差し込んでください

③ フィルムカセット両端部にある赤色の線が入ったテープを剥がし、フィルムカセットのフタを真上に持ち上げて外します。



※フィルムカセットのフタは、フィルムの再セット時に必要になりますので保管してください。

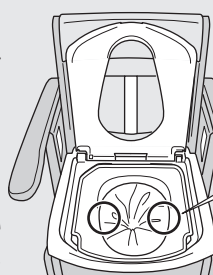
注意



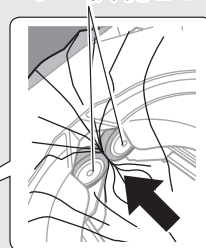
フィルムが左右のローラーに挟まれていること

フィルムが左右のローラーに挟まれていないと正常にラップされなくなる原因になります。

※フィルムがローラーに挟まれていない場合は 4. ①からやり直してください。



ローラー（片側2つずつ）



確認しましょう

！安全上の注意

✳ ご使用の前に

♡ 使いましょう

場合 バケツ使用の

お手入れ しましょう

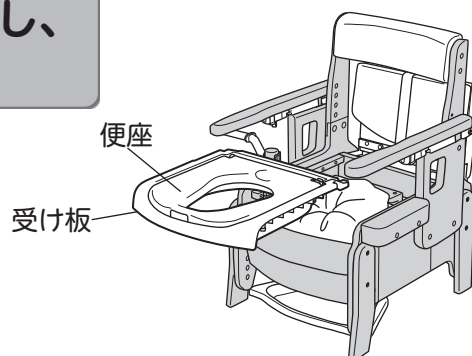
各種機能 暖房便座

？ 困ったときには

5. 受け板ごと、便座と止水カバーを戻し、正しく取り付けられているか確認します

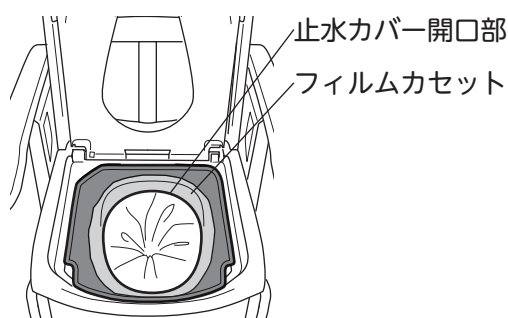
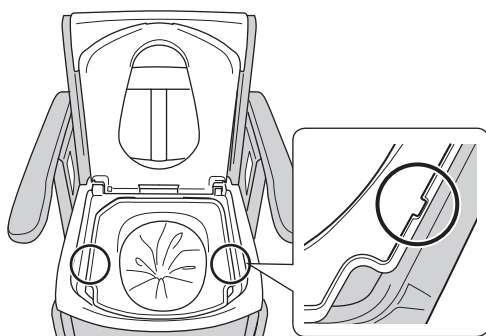
- ①受け板ごと便座と止水カバー（半透明）を戻します。受け板を戻したら、便座を上から押して、ガタつきがないことを確認してください。

※止水カバーは受け板と便座の間に入っています。



- ②便座を上げて、止水カバー（半透明）が下図の状態であるか確認してください。図のようにならない場合は、フィルムカセットが逆向きの可能性があります。P.20「3. フィルムカセットをラップユニット天面にのせます」からやり直してください。

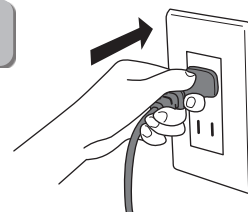
- ・凸部と凹部の位置が合っていること
- ・止水カバー開口部がフィルムカセットの内側にあること



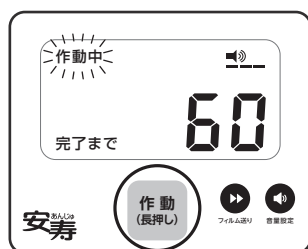
6. 電源プラグをコンセントに差し込んでください

正常に電源が入ると、「ピッピッピ」と音が鳴り、「ご使用可能です。」という音声案内が流れます。

※音量が0の場合は音声案内は流れません。



7. リモコンの作動ボタンを押し、ラップ動作の初期設定をします



- ①作動ボタンを約1秒押すと、リモコン画面の「作動中」が点滅し、ラップ動作の初期設定が始まり、初期設定完了までの目安時間が表示されます。

- ②正常に終了すると「ピッピッピ」と音が鳴り、「処理が完了しました。トレイから袋を取り出してください。」と音声案内が流れ、リモコン画面に使用回数が表示されます。

※音量が0の場合は音声案内は流れません。

注意



ラップ動作の初期設定が終了するまでフィルムに触れないこと

正しく動作せず、ラップされないために汚物が漏れて製品故障の原因になります。

確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

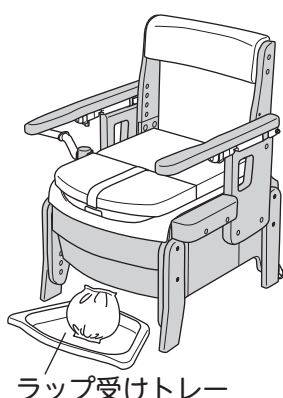
💧 お手入れしましょう

🔥 各種機能 暖房便座

？困ったときには

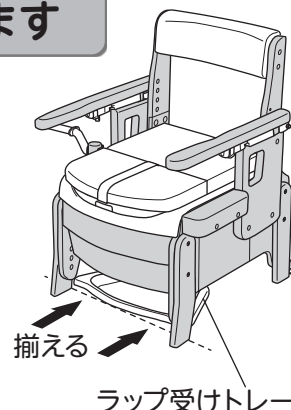
✖ ご使用の前に（ラップユニット使用の場合）

8. 初期設定で切り離されたフィルムを取り出します



OK の場合

正常にラップ処理ができています。ラップ受けトレイを元の位置に戻してください。



NG の場合

圧着部の片方が斜めになっている場合はフィルムがローラーに正しく挟まっていないおそれがあります。P.21「4. フィルムセッターを使用してフィルムのセットをします」からやり直してください。

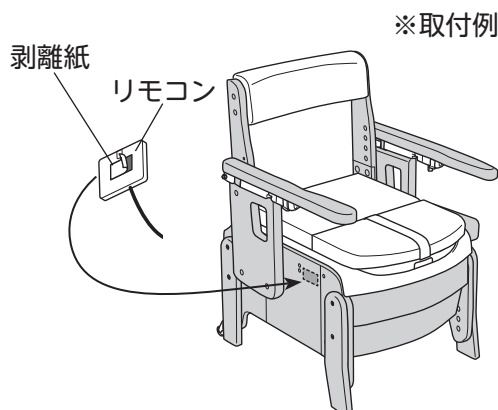
ラップ受けトレイからフィルムを取り出し、圧着部を確認して状態に応じて矢印の内容に進んでください。

リモコンを取り付けましょう

リモコンは、面ファスナーまたはリモコンフックを使い、任意の場所に取り付けできます。

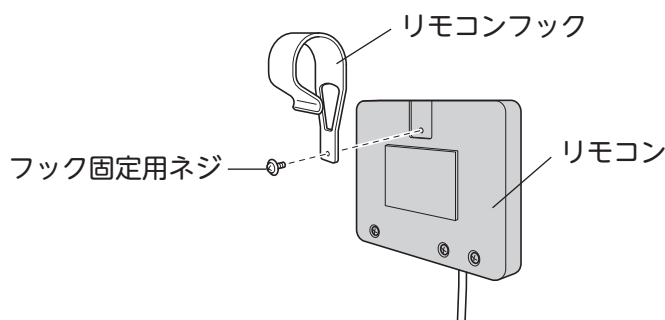
【面ファスナーの取り付けかた】

リモコンの裏にある面ファスナーの剥離紙を剥がし、本体の任意の場所に取り付けます。



【リモコンフックの取り付けかた】

- ① リモコン裏側のネジ穴とリモコンフックのネジ穴を合わせ、プラスドライバーでネジを固定します。
- ② リモコンフックを介護用ベッドのサイドフレーム等に引っ掛けて取り付けます。



注意



リモコンフックを介護用ベッドのサイドフレームに取り付けたまま、ベッドやポータブルトイレを動かさないこと

リモコンの断線や、本体の故障、破損、けがの原因になります。

●暖房便座タイプをご利用の場合は、続けてP.43「各種機能/暖房便座」の「組み立てかた」へお進みください。

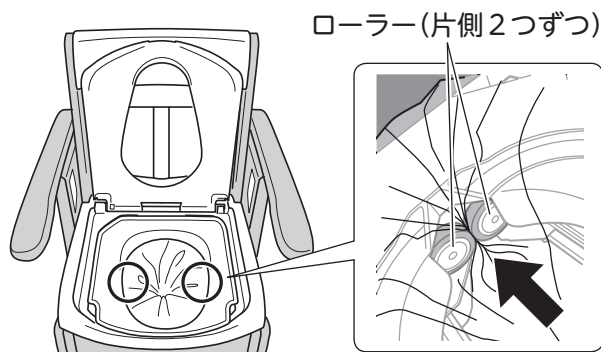
🍷 使いましょう (ラップユニット使用の場合)

使いかた

使用前の準備のしかた

1. フィルムの状態を確認します

- ① フィルムに穴が空いていないこと、ラップユニットの両側のローラーにフィルムが挟まっていることを目視で確認します。

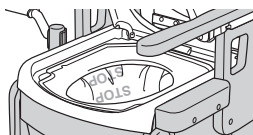


※ローラーにフィルムが挟まっていない場合はフィルムを取り付け直してください。

フィルムカセットの取り付けのしかたは…P. 20 へ

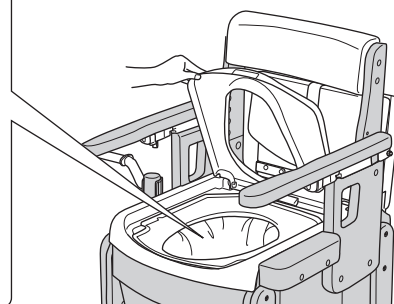
- ② フィルムに「STOP」マークが出ていないことを確認します。

「STOP」(赤文字) マークが出ていたら、フィルムカセットの交換を行ってください。



※「STOP」マークが出てから約8回お使いいただけますが、早めの交換をおすすめします。

フィルムカセットの交換のしかたは…P. 27 へ



2. 凝固剤を指定の量入れます

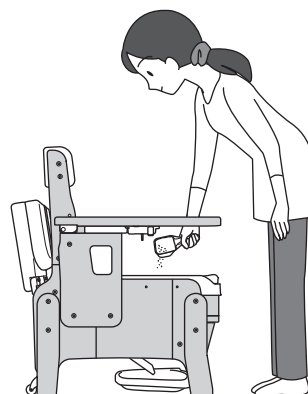
注意



凝固剤は指定された量を超えて投入しないこと
大量に投入すると凝固剤がローラーに巻き込まれ、製品故障の原因になります。

凝固剤を入れずに使用しないこと
汚物が漏れ、製品故障の原因になります。

※その他、凝固剤の注意は、凝固剤の袋に記載の内容をよくお読みください。



👉 確認しましょう

! 安全上のご注意

✖ ご使用の前に

🍷 使いましょう

🪣 バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔥 各種機能暖房便座

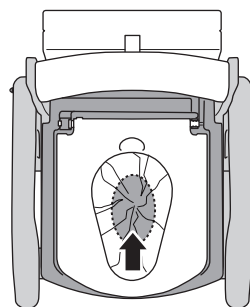
? 困ったときには

❤️ 使いましょう (ラップユニット使用の場合)

汚物処理のしかた

1. ラップユニットを作動させます

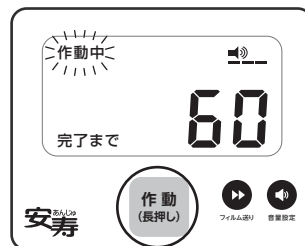
- ①汚物やトイレットペーパーが便器中央（右図、点線部）に入っているか確認し、入っていない場合はフィルム送りボタンで中央に移動させます。



- ②便座に座っていない状態でリモコンの作動ボタンを約1秒長押しすると、「作動中」が点滅してラップ処理が始まります。



リモコン画面にはラップ終了までの目安時間が表示されます。



- ③処理が完了すると「ピッピッ」と音が鳴り、「処理が完了しました。トレーから袋を取り出してください。」と音声案内が流れ、リモコン画面に使用回数が表示されます。

※音量が0の場合は音声案内は流れません。



注意



便座に腰かけた状態でラップユニットを作動させないこと

フィルムが破れたり、ラップユニットが作動せず、ラップ不良の原因になります。

ラップ動作が終了するまでフィルムに触れないこと

正しく動作せず、ラップされないために汚物が漏れて製品故障の原因になります。

ラップが切り離されるまで続けて使用しないこと

汚物が漏れて製品故障の原因になります。

2. 汚物を捨てます

ラップ受けトレーから汚物を取り出し、適切に廃棄してください。

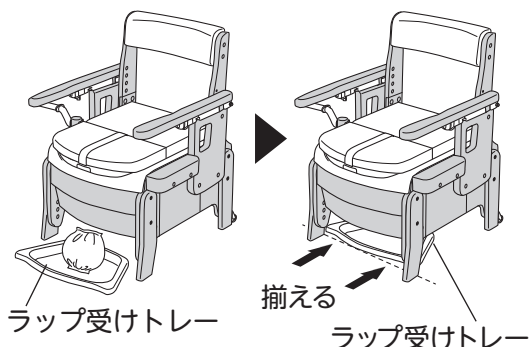
トレーは元の位置に戻してください。

※ラップされた汚物はオムツの分類を参考にするなど

お住まいの地域の分別ルールにしたがって廃棄してください。

※凝固剤は注意事項にしたがって、適切に廃棄してください。

※大便をフィルムから取り出す際は、汚物が飛び出ないように、フィルムをハサミなどで切ることをおすすめします。



注意



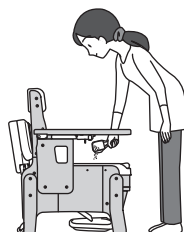
ラップ受けトレーにラップされた汚物をためないこと

製品故障の原因になります。

ラップのし直しかた

- ・フィルムに穴が開いている場合。
- ・凝固剤を入れ忘れて排泄してしまった場合。
- ・フィルムが切り離される前に無理にフィルムを引っ張ってしまった場合などのときは、こちらの手順でラップをし直してください。
(凝固剤が入っている場合は、③の操作から行ってください)

- ①正しくフィルムがセットされた本体（ラップユニット）に凝固剤を計量カップ1杯分入れます。

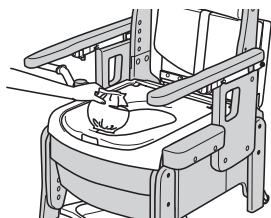


- ②ラップし直したいフィルムを開けます。



※汚物がこぼれないようにご注意ください。

- ③①で入れた凝固剤の上に、②で開封したフィルムを入れます。



- ④ P.25「汚物処理のしかた」にしたがってラップ動作を行います。

フィルムカセット交換の案内

フィルム残量が少なくなると、作動ボタンを押したときに音声流れます。

リモコンのランプ表示	音 声	ラップ ユニット	対処方法
	「ピピピ」 「フィルムがなくなりました。処理が終了しましたら、フィルムを交換してください。」	ラップ開始	1 回分は処理可能です。 ラップ処理終了後、フィルムカセットを交換してください。（交換しないと次回ラップ動作はできません） フィルムカセットの交換のしかた…P.27
	「ピピピ」 「フィルムを交換してください。」	作動しない	すぐにフィルムカセットを交換してください。 フィルムカセットの交換のしかた…P.27 新しいフィルムカセットがすぐに用意できない場合はバケツをセットしてご使用ください。 バケツのセットのしかた…P.32

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

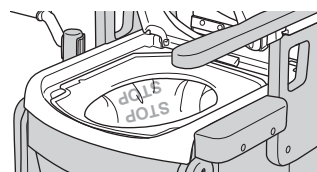
各種機能暖房便座

？困ったときには

📖 使いましょう (ラップユニット使用の場合)

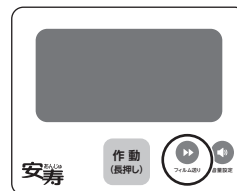
フィルムカセットの交換のしかた

トイレの中のフィルムに「STOP」マークが出たらすみやかにフィルムカセットを交換してください。



1. リモコンのフィルム送りボタンを押し、残ったフィルムを出し切ります

フィルム送りボタンを押している間、フィルムが送り出されます。20cm 送り出されると自動で停止します。フィルムがなくなるまで繰り返しフィルム送り操作をしてください。



2. 電源プラグをコンセントから抜きます

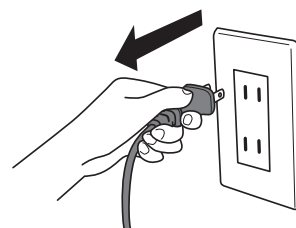
警告



電源プラグを差した状態でトイレの中に手を入れないこと

ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。

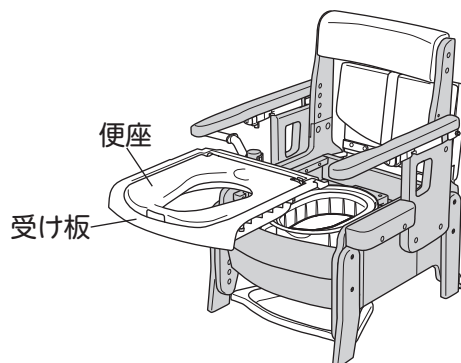
また、通電している部分に触れ、感電やショートの原因になります。



3. 受け板ごと、便座と止水カバーをはずします

便座の裏や止水カバー、受け板が汚れている場合は、汚れをふき取ってください。

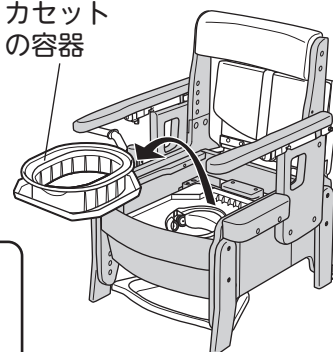
※止水カバーは受け板と便座の間に入っています。



4. 空になったフィルムカセットの容器を抜き取ります

空になったフィルムカセットの容器はおすまいの自治体の指示にしたがって廃棄してください。

フィルムカセットの容器



ラップユニット周辺はフィルムカセットを外さないと清掃ができません。フィルムカセット交換の際に清掃してください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

📖 使いましょう

📦 バケツ使用の場合

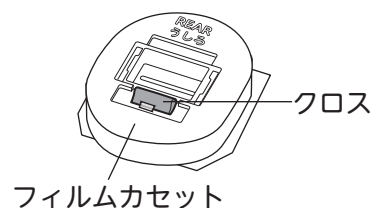
💧 お手入れしましょう

🔌 各種機能暖房便座

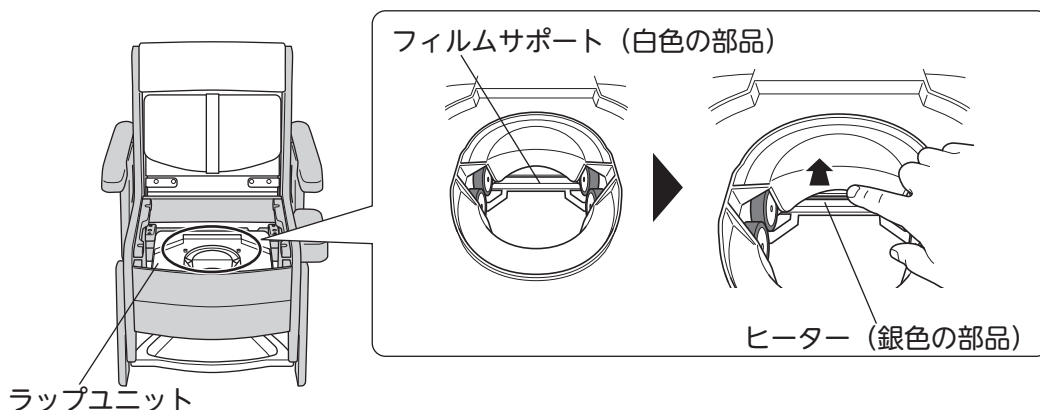
？ 困ったときには

5. ヒーター表面の汚れをふき取ります

- ① フィルムカセットにテープで貼られているクロスを取り外してください。



- ② ラップユニット内のフィルムサポート（白色の部品）を奥側に押し、ヒーター（銀色の部品）を露出させて、クロスでヒーター表面の汚れを拭き取ります。



注意



ヒーターの汚れをクロスで拭き取る際は、温度に注意すること
ラップ動作直後にはヒーター部分が高温になっている場合があります。

6. 新しいフィルムカセットを取り付けます

P.20「ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう」の「3. フィルムカセットをラップユニット天面におきます」から手順にしたがってフィルムカセットを取り付けてください。

詳しくは…P. 20「ラップユニット～」へ

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔥 各種機能暖房使用

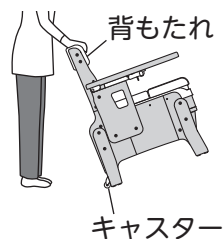
？困ったときには

♡ 使いましょう

移動のしかた

背もたれを持ち、本体を斜めに傾け、キャスターを床につけて、ゆっくり移動させてください。

※移動させるときは、必ずひじ掛けを下ろし、ロックしてください。



●段差などでキャスターが使えず製品を持ち上げる場合

ノーマルタイプ

背もたれ側のひじ掛け付け根を持ち上げてください。



はねあげタイプ

ひじ掛け側面の持ち手を持ち上げてください。



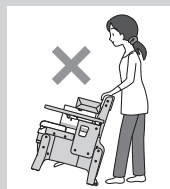
警告



人を座らせたり、物を乗せたまま移動させないこと

・バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させる …など

けが、故障、破損、服や床を汚す原因になります。



注意



本体を移動させるときは、ペーパーホルダーを持たないこと

けが、故障、破損の原因になります。

ひじ掛け先端を持って、本体を持ち上げないこと

本体を持ち上げるときは、すべてのボルトを必ずしめて固定すること

ひじ掛けが破損したり、けがの原因になります。

本体を移動させるとき、暖房便座／ラップユニットの電源プラグをコンセントから抜き、コードをまとめてから移動すること

コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。



電源プラグを抜く

フィルムカセットを装着したままキャスターで移動するなど、トイレを傾けた場合には、フィルムカセットが正しくセットされているか確認すること

トイレを傾けるとフィルムカセットがずれる場合があり、正常にフィルムがラップされなくなる原因になります。

●ご使用前に以下のことを確認してください。

- ・フィルムがローラーに挟まっていること → 詳しくは P.21 「4. フィルムセッターを使用してフィルムのセットをします」をご確認ください。
- ・受け板が正しく取り付けられていること → 詳しくは P.22 「5. ①」をご確認ください。
- ・止水カバーの位置が正しいこと → 詳しくは P.22 「5. ②」をご確認ください。

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

♡ 使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🪑 各種機能暖房便座

？困ったときには

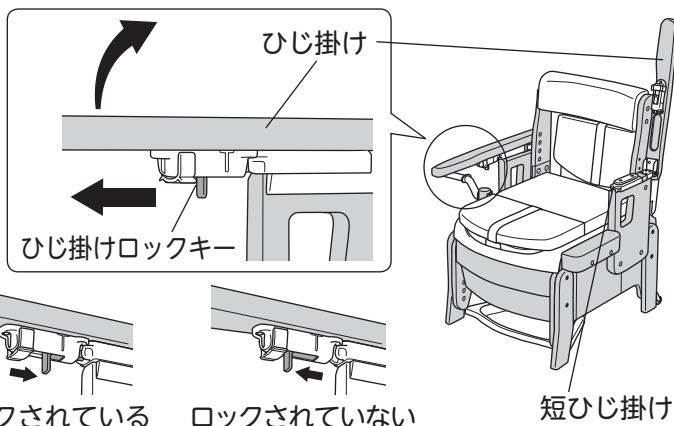
ひじ掛けのはね上げかた

ひじ掛けロックキーをひじ掛け先端側にスライドさせながらひじ掛けを上げます。

ひじ掛けを下ろす際は、ひじ掛けロックキーがカチッと音がするまでしっかりと下げてください。

自然にひじ掛けがロックされます。

※はねあげタイプのみ



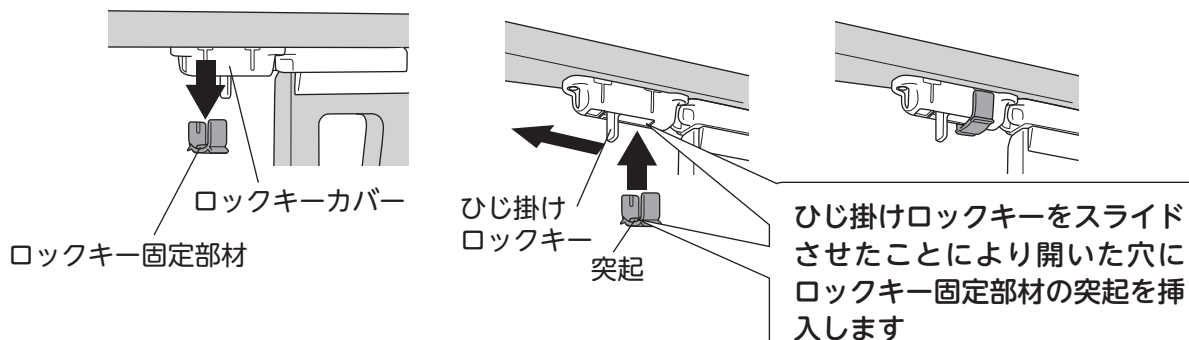
ロックされている ロックされていない

～毎回、ひじ掛けのロックを解除する動作が困難な方は～

ひじ掛けロックキーが解除された状態のまま（ロックフリー）にすることができます。

①ロックキー固定部材をロックキーカバーから外します。

②ひじ掛けロックキーを手前にスライドさせた状態のまま、①で外したロックキー固定部材を図の位置にハメ込みます。



注意



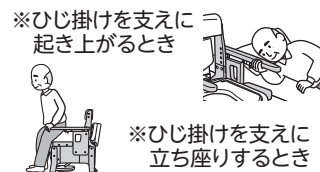
ひじ掛けを下げる場合、ひじ掛けと短ひじ掛けの間で手や指を挟まないように注意すること

ひじ掛けをはね上げずに使用する場合や、強い力が加わる場合は、ひじ掛けをロックすること

ひじ掛けの破損の原因になります。



以下の動作はひじ掛けに強い力が加わるため、必ずひじ掛けを固定すること



ロックフリーにしたひじ掛けを持って、本体を移動させたり、持ち上げたりしないこと

けが、故障、破損の原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能暖房使用

？困ったときには

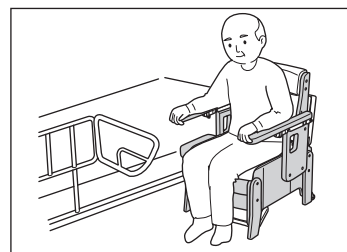
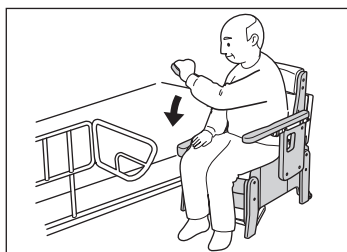
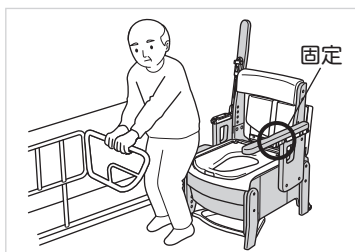
❤️ 使いましょう

こんな使いかたができます

はねあげタイプ

●立ち上がって移乗ができる場合

ひじ掛けをはね上げた状態でベッドの移動用バーを持ちながら立ち上がって移乗し、便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。



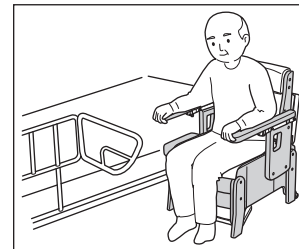
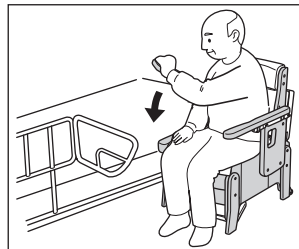
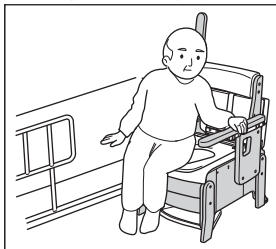
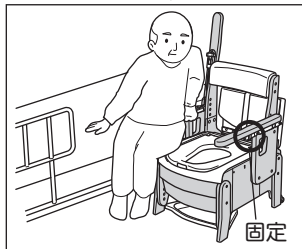
●立ち上がれないが座位移乗ができる場合

ひじ掛けをはね上げた状態で短ひじ掛けを持って身体を引き寄せながらトイレに移乗し、奥のひじ掛けをつかんで身体を便座の中央まで引き寄せ、便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。

短ひじを持って体をポータブルトイレへ引き寄せる

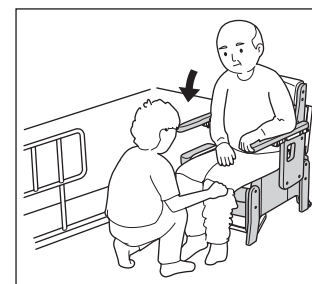
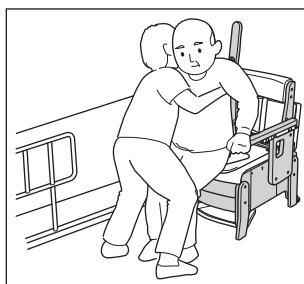
ひじ掛けを支えに体をさらに引き寄せ、移乗する

移乗後はひじ掛けを下ろす



●介助される方が補助して移乗させる場合

ひじ掛けをはね上げた状態で身体を支えてトイレに移乗させ、ひじ掛けを下ろして使用できます。



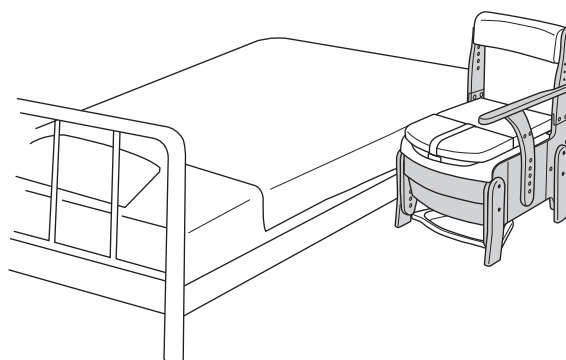
ノーマルタイプ

●ベッドに横付けして座った状態で移乗する場合

は、ベッド側のひじ掛けを取り外してお使いいただくことができます。

※ひじ掛けはどちらか片方は必ず取り付けてお使いください。

※落ち込み防止のため、ポータブルトイレはできるかぎりベッドに寄せてください。



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

❤️ 使いましょう

🗑 バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🏠 各種機能暖房便座

？困ったときには

🗑 バケツ使用の場合（ご使用の前に）

バケツで処理をする 準備をしましょう

※汚物処理はバケツで行うこともできます。
消耗品のフィルムがなくなったとき／停電のとき／
ラップユニットが故障したとき
付属のバケツおよびバケツ受けはすぐに取り出せる
場所に保管しておいてください。

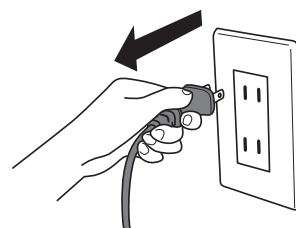
1. 電源プラグをコンセントから抜きます

警告



電源プラグを差した状態でトイレの中に
手を入れないこと

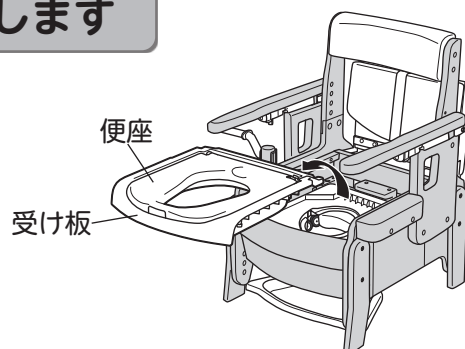
ローラーや圧着バーに手を挟まれて、けがや火傷
の原因になります。
また、通電している部分に触れ、感電やショート
の原因になります。



2. 受け板ごと便座と止水カバーをはずします

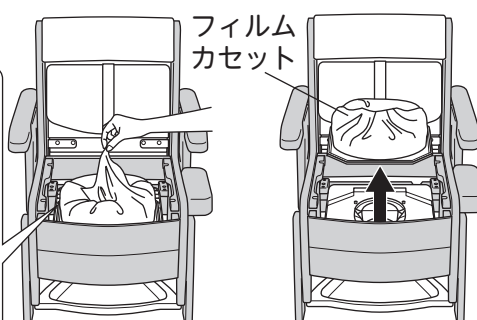
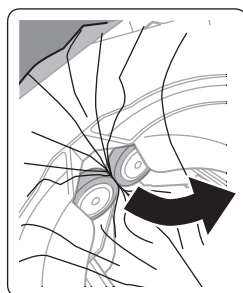
※フィルムカセットの取り付けをしていない
場合は、「5. ラップユニットを取り出す」
へお進みください。

※止水カバーは受け板と便座の
間に入っています。



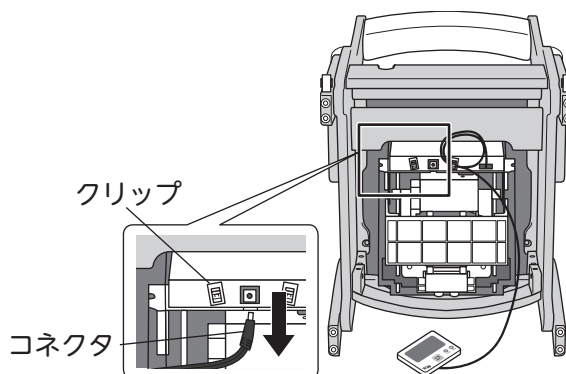
3. フィルムカセットを取り出します

フィルム中央を持ち上げ、左右
のローラーに挟まれているフィル
ムを外してからフィルムカ
セットを持ち上げます。



4. ACアダプターを抜く

本体を倒してACアダプターを固定している
クリップから外し、コネクタを抜きます。



👉 確認
しましょう

! 安全
上のご注
意

✖ ご使
用の前
に

💡 使
いまし
ょう

🗑 バ
ケツ使
用の
場
合

💧 お
手入
れ
し
ま
し
ょう

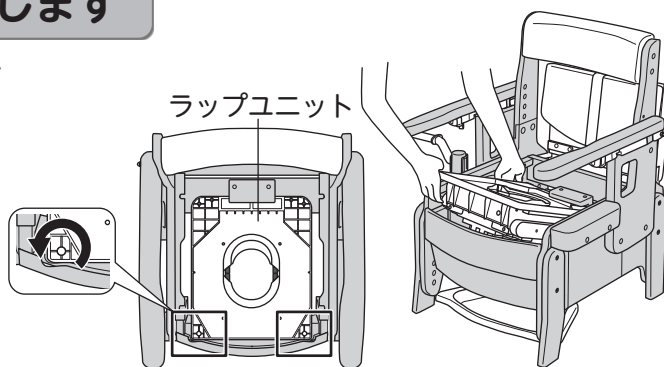
🔥 各
種機
能
使
用
に
関
する
説
明

? 困
った
とき
に
は

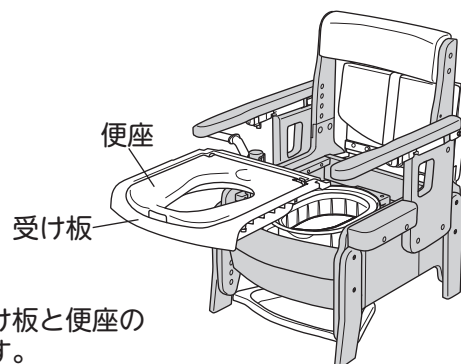
🗑️ バケツ使用の場合（ご使用の前に）

5. ラップユニットを取り出します

ラップユニットを固定しているネジ（2ヶ所）を外して、ラップユニットを取り出してください。



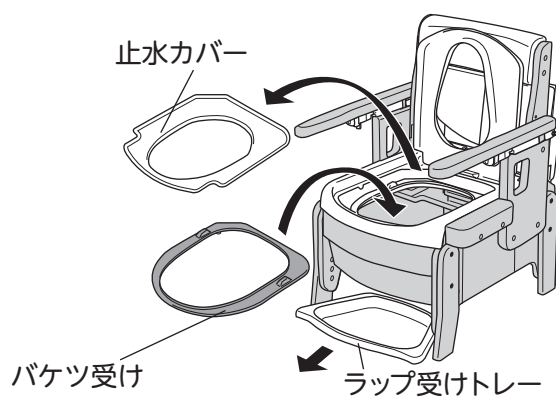
6. 受け板ごと便座と止水カバーを戻します



※止水カバーは受け板と便座の間に入っています。

7. 便座を上げてバケツ受けを取り付けます

便座をあげて、止水カバーを外し、バケツ受けを取り付けます。
ラップ受けトレイも取り外してください。



注意



取り外したラップユニットは落下させたり、衝撃を加えたりしないこと
故障・破損の原因になります。

🔍 確認しましょう

⚠️ 安全上のご注意

✖️ ご使用の前に

👉 使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

🔥 お手入れしましょう

🚿 各種機能暖房便座

❓ 困ったときには

🗑 バケツ使用の場合（使いましょう）

使いかた

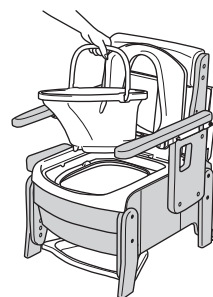
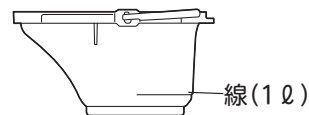
使用前の準備のしかた

1. 付属のポータブルトイレバケツに水を入れます

バケツの内側の線（1ℓ）まで水を入れてください。

※バケツに水が入っていない場合は、防臭効果が減少します。

※バケツの水が1ℓより少ない場合、バケツを持ち運ぶ際にバケツが不安定になることがあります。



2. バケツをセットし、便座を下げます

バケツを本体にセットし、バケツの蓋を外してご使用ください。

※バケツ内へは、ティッシュペーパーなどトイレトペーパー以外のものはいれないこと。トイレで処理する際、詰まる原因になります。



・防臭消耗品もご用意しています（別売）。ご活用いただき、快適にお使いください。
詳しくは

安寿 防臭消耗品

検索

クリック

・便の量が多いときなどは、便が水に隠れる程度に水量を増やしてください。

・弊社の防臭消耗品は便の量に対して使用量を決めています。
十分に防臭効果を得るためには、水の量に関わらず一回のご使用で、各防臭消耗品の指定する分量を入れてください。

バケツでの汚物処理のしかた

バケツ柄を真上に持ち上げたときに、バケツ柄が動かないようロック状態となり、安心して持ち運べます。

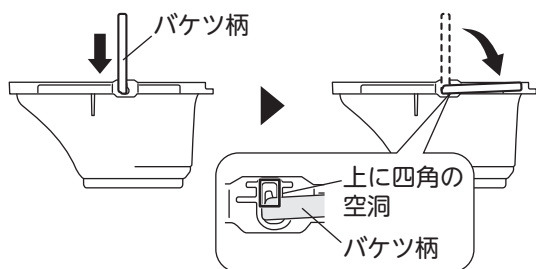


ロック状態になると安定感が増し、安心して持ち運びができます。

ロック解除状態

バケツ柄のロックを解除した状態でポータブルトイレに収納してください。

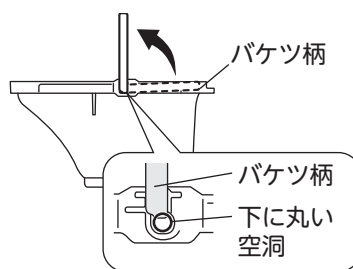
- ①バケツ柄を下に押し
- ②そのままバケツ柄を後ろに倒してください。



ロック状態

バケツ柄をロックした状態で、持ち運びや汚物処理をしてください。

- ①バケツ柄を真上に持ち上げるとロック状態になります。



👉 確認しましょう

! 安全上のご注意

✖ ご使用の前に

💡 使いましょう

🗑 バケツ使用の場合

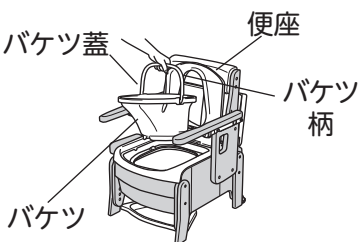
💧 お手入れしましょう

🔥 各種機能暖房便座

? 困ったときには

バケツ使用の場合（使いましょう）

便座を上げ、バケツ蓋
をして、バケツ柄を
しっかり持ってバケツ
をゆっくりと取り出し
ます。



汚物をトイレに流し、バケツ
を洗浄します。

※右図のように、バケツの柄
を持ち、もう片方の手でバ
ケツ後方を支えると安定し
てトイレに流せます。



処理後は、逆の手順でバケツを設置し「使用前
の準備のしかた」に戻り、使用前の準備をして
ください。

詳しくは…P.34へ

※弊社防臭消耗品は、汚物と一緒にトイレへ
流すことができます。
浄化槽に流しても問題ありません。

※受け板に尿がこぼれた場合は…

詳しくは…P. 36「お手入れしましょう」へ

注意



バケツに水、汚物、汚物処理袋、トイレットペーパー、
紙以外の物を入れて持ち運ばないこと

バケツ柄に負荷がかかり、変形・破損するおそれがあります。

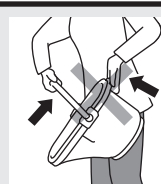


注意



ロック状態のバケツ柄に必要以上に力を加えないこと

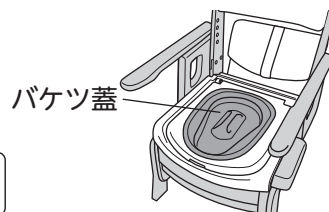
バケツ本体とバケツ柄の回動部に必要以上の力を加えると
変形・破損するおそれがあります。



バケツ蓋を便座の上にのせてフタをすることができます

●座面の開閉動作が難しい場合は、座面を開けたままでバケツ蓋を
便座の上にのせてフタをすることができます。

※バケツ蓋が汚れている場合は、洗ってからご使用ください。



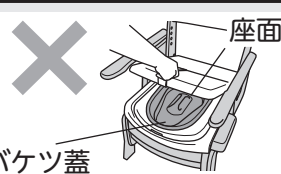
座面の開閉が難しい場合におすすめです

注意



便座の上にバケツ蓋をのせた状態で、
座ったり、座面を閉じないこと

製品や、バケツ蓋が破損する原因になります。



座面を閉じるときは、バケツ蓋でバケツを閉じること

座面に汚物臭が残る原因になります。

バケツ利用からラップユニット利用への戻し方

- ① P.32 ～ P.33 「バケツで処理をする準備をしましょう」の逆の手順で、ラップユニットを本体に
取り付けます。
- ② フィルムカセットを取り付けます。

詳しくは…P.20「ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう」へ

💧 お手入れしましょう

警告



- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
- 暖房便座、ラップユニット、リモコン、ACアダプターには水をかけないこと
- ラップユニット、リモコン、ACアダプターを無理に引っ張らないこと
- 暖房便座のスイッチボックスをホルダーに固定したまま便座・受け板を取り外さないこと

感電、ショート、火災の原因になります。

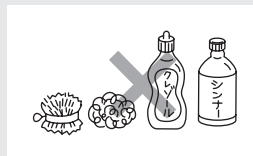
注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、破損の原因になります。



お掃除のしかた

ポータブルトイレ本体のお手入れ方法

家具調トイレは木部に汚れがしみこむと、とれにくくなり、臭いの原因になります。

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、こまめに汚れを落としてください。

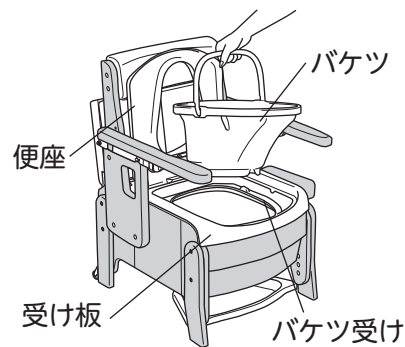
汚れはスポンジかやわらかい布に、うすめた中性洗剤をふくませてふき取ってください。

汚れが気になる場合は

便座（暖房便座は除く）、バケツ、バケツ蓋、受け板は、本体から取り外して水洗いすることができます。

各部を取り外す場合は、次ページの手順で実施してください。

※バケツ蓋を便座の上に置くときは、洗ってからご使用いただくことをおすすめします。



※バケツ使用の場合

ラップユニットのお手入れ方法

- ①フィルムカセットをとりはずします。

詳しくは…P.39「使用途中のフィルムの取り外しかた」へ

- ②スポンジかやわらかい布に、うすめた中性洗剤をふくませて、ラップユニット天板の汚れをふき取ってください。

お手入れが終わったらラップユニットにフィルムを取り付け直してください。

詳しくは…P.20「ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう」へ

※ラップユニット内部が汚物で汚れた場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

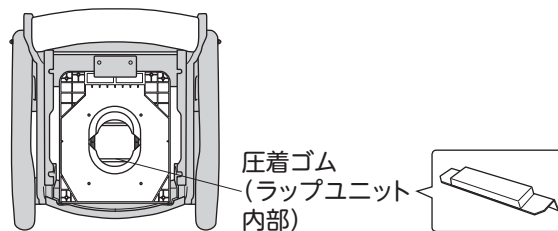
暖房便座 各種機能

？困ったときには

💧 お手入れしましょう

圧着ゴム（灰色）のお手入れ方法

圧着ゴムの汚れをふき取ります。
電源プラグをコンセントから抜き、フィルムカセットを外して圧着ゴムを乾いたやわらかい布（フィルムカセットに付属のクロスなど）でふいてください。



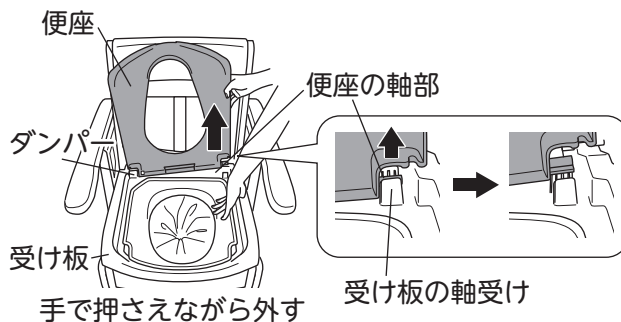
便座・受け板のお手入れ方法

1. 便座を取り外します

※ラップユニットを使用している場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。手や指がラップユニットに挟まれ、けがの原因になります。

①座面を開けて、便座を上げます。

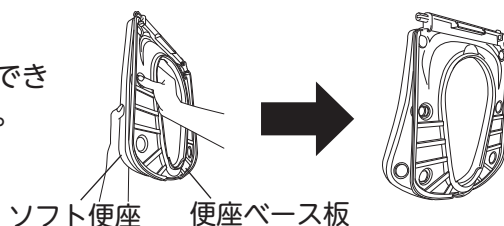
②受け板を手で押さえながら、図のように便座の右側を引き上げ、軸部を外します。



ダンパーが外れた場合は、45 ページ「よくあるご質問」をご参照の上、取り付けてください。

※ソフト便座の場合

ソフト便座は便座ベース板から取り外すことができます。裏面の凸部を押して取り外してください。



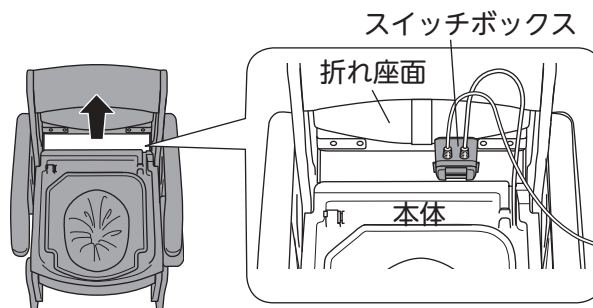
注意



ソフト便座と便座ベース板を取り外す際、無理に引っ張らないこと
強く引っ張ると、ソフト便座が破損します。

※暖房便座の場合

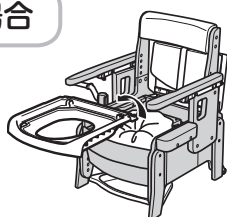
暖房便座の場合は、スイッチボックスも一緒に外します。スイッチボックスは、折れ座面を開けた状態で本体と座面の間を通して外します。



2. 使用している方法に合わせて、受け板などを取り外します

ラップユニット使用の場合

受け板と止水カバーを取り外します。

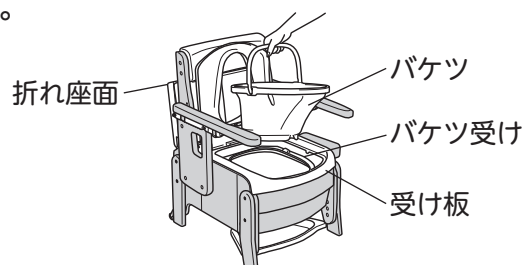


※フィルムを取り外し、ラップユニット周辺のふき掃除をすることも可能です。

詳しくは…P. 39「使用途中のフィルムの取り外しかた」へ

バケツ使用の場合

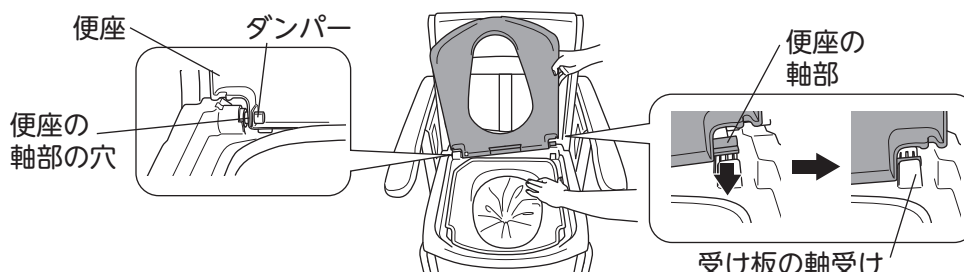
バケツを取り出し、バケツ受け、受け板を外します。



お手入れが終わったら、取り外しと逆の手順で部品を取り付け直してください。

●便座の取り付けかた

- ①ダンパーを便座の軸部の穴に差し込みます。
- ②便座の軸部を受け板の軸受けに上から押し込みます。



※暖房便座の取り付けは、スイッチボックスに注意し、セットしてください。

取り付けかたは…P.43 暖房便座「組み立てかた」へ

吸着便座シートのお手入れ方法

40℃以下のぬるま湯に中性洗剤を使って洗い、日陰干しにしてください。



・洗濯ネットを使用

※洗濯時に柔軟剤や漂白剤を使用しないでください。

※初めて洗濯するときは繊維が多少抜けることがありますが、品質上の問題はありません。

※乾燥機を使用しないでください。

※裏面の吸着面を合わせて干さないでください。

※繰り返し洗濯してご使用いただけますが、吸着力が弱くなりましたら、お買い上げになった販売店にて、新しい吸着便座シートをお求めください。

確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能暖房便座

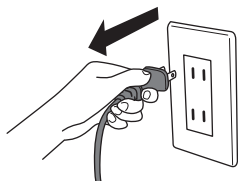
？困ったときには

🔥 お手入れしましょう

使用途中のフィルムの取り外しかた

用意する物：はさみ

- ①電源プラグをコンセントから抜きます。



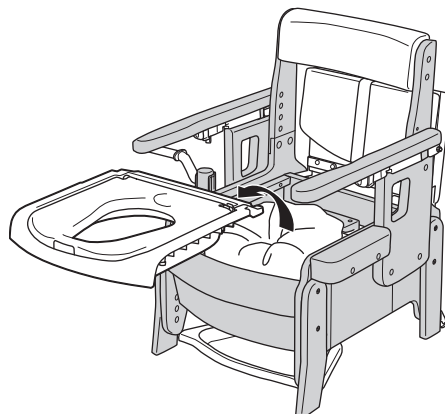
警告



電源プラグを差した状態で
トイレの中に手を入れないこと

ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。

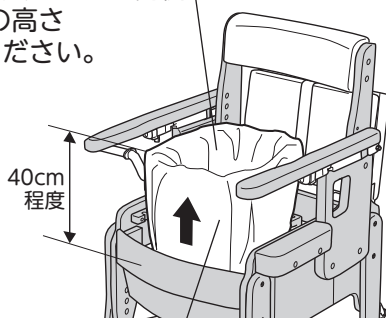
- ②受け板ごと、便座と止水カバーを外します。



- ③フィルムの外側を持ち上げます。

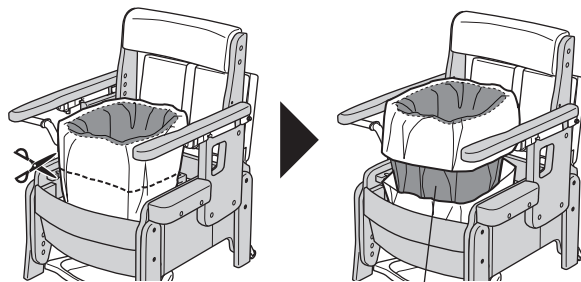
ラップユニットの天面から 40cm 程度の高さまで持ち上げてください。

内側のフィルム



外側のフィルム

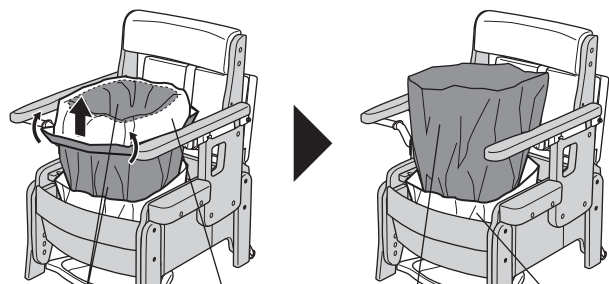
- ④外側のフィルムのみをラップユニット天面から 15cm 程度の高さに切断します。



内側のフィルム

※内側のフィルムを傷つけないように注意してください。

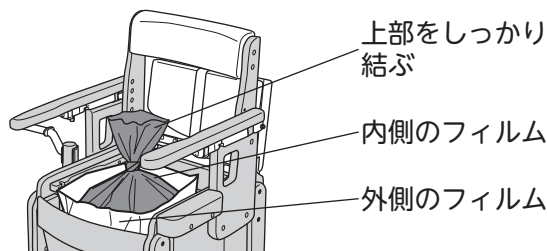
- ⑤内側のフィルムを伸ばします。



内側のフィルム
外側のフィルム

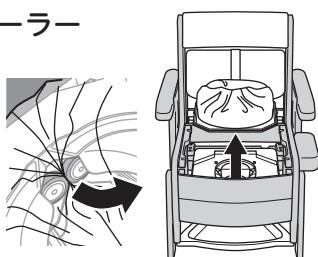
内側のフィルム
外側のフィルム

- ⑥残内容物が入っている場合は、内容物がこぼれないようにしっかりと内側のフィルムを結びます。



※できるだけ中の空気量を減らしてください。

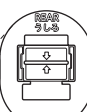
- ⑦内側のフィルムをローラーから引き抜き、フィルムカセットを外します。



- ⑧外したフィルムカセットは図のように向きを合わせてフィルムカセットのフタをかぶせ、保管してください。

フィルムカセット

フィルムカセットのふた



確認しましょう

！安全上の注意

✳ご使用前に

使いましゅう

場合 バケツ使用の

🔥 お手入れ

🔥 各種機能
暖房便座

？ 困ったときには

使用途中のフィルムの取り付けかた

用意する物：フィルムセッター

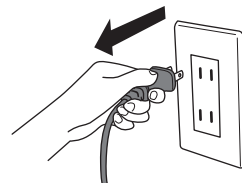
- ①電源プラグをコンセントから抜きます。

警告

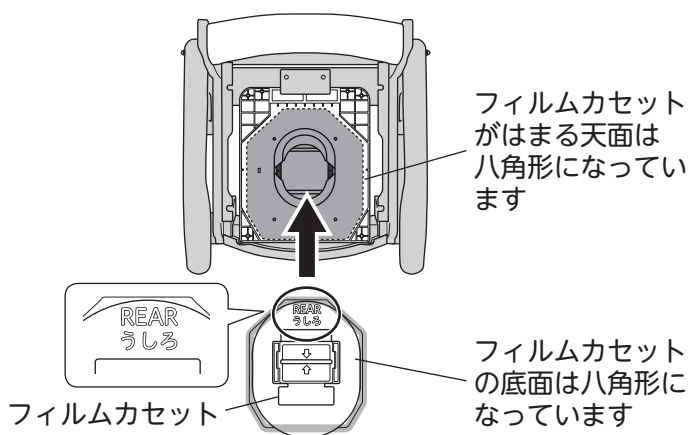


電源プラグを差した状態でトイレの中に 手を入れないこと

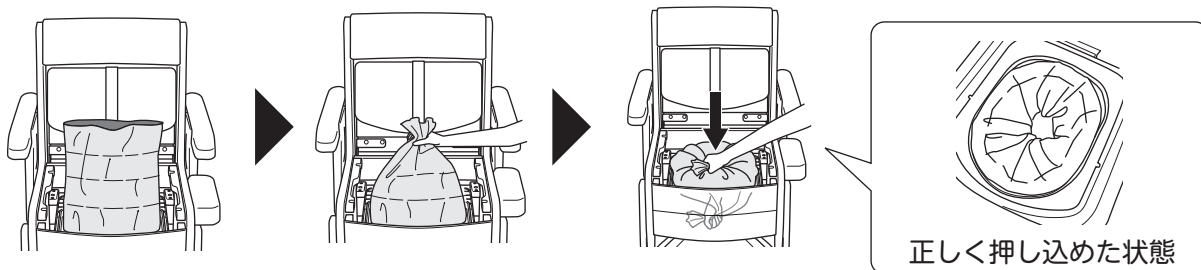
ローラーや圧着ゴムに手を挟まれて、けがや火傷の原因になります。
また、通電している部分に触れ、感電やショートの原因になります。



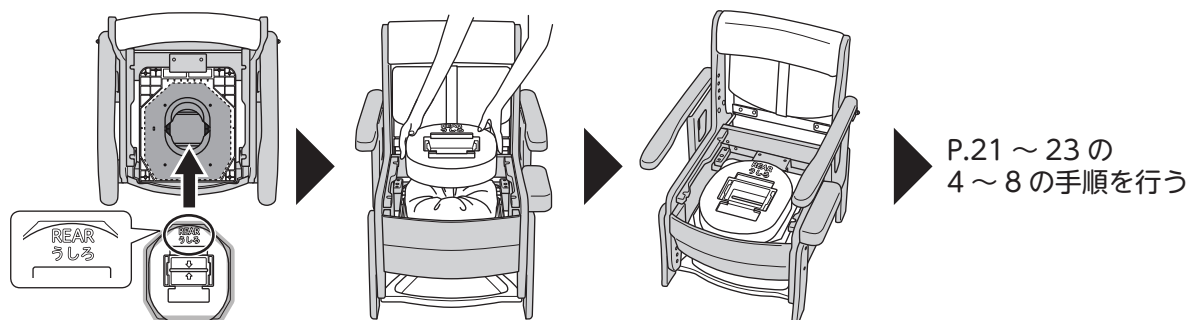
- ②フィルムカセットの「うしろ」の表示を背もたれ側にセットし、底面がラップユニットの八角形の溝にはまっているか確認してください。



- ③フィルムカセットのフタを外し、40cm 程度フィルムを持ち上げます。
フィルムの上部をひとまとめにし、フィルムカセット中央に押し込みます。
※押し込んだ後、フィルムの折り目がずれたり偏ったりしないよう注意してください。



- ④フィルムカセットのフタを「うしろ」の表示を背もたれ側にセットし、P.21「4. フィルムセッターを使用してフィルムのセットをします」から P.23「8. 初期設定で切り離されたフィルムを取り出します」までの手順を行ってください。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能暖房便座

？困ったときには

🔧 お手入れしましょう

点検のしかた

安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスを行ってください。

お手入れして取り付けした後や、調節の後、ご使用になる前に、各項目を確認してからご使用ください。

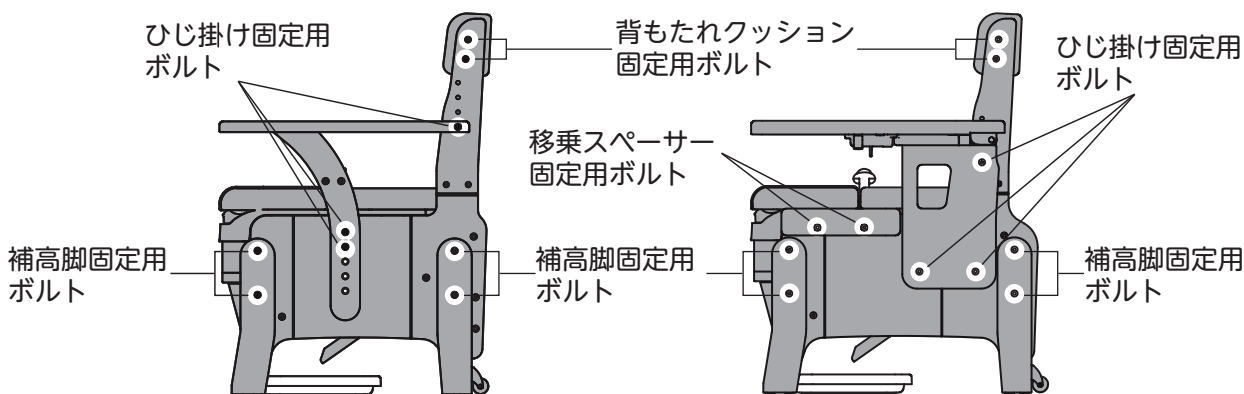
下記の点検を行った時に不具合を感じた場合はただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室（フリーダイヤル：0120 - 86 - 7735）」までご相談ください。

全タイプ共通

ご使用の前にひじ掛けや背もたれを軽くゆすり、各部にガタつきなど、異常がないか点検すること



- ・ひじ掛け固定用ボルト（6本）
- ・補高脚固定用ボルト（8本）
- ・移乗スパーサー固定用ボルト（2本）（はねあげタイプのみ）
- ・背もたれクッション固定用ボルト（4本）
- ・各箇所取り付け／接続用六角穴付きボルト

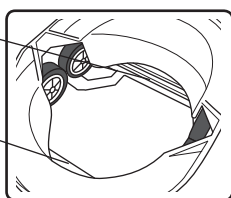


ボルトがゆるんでいる場合は…P.13 を参照して、しめなおしてください。

六角穴付きボルトがゆるんでいる場合は、付属の六角レンチを使用してしめなおしてください。

暖房便座／ラップユニット

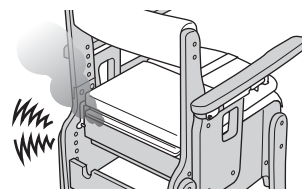
- ・ヒーターに汚れがないこと
- ・圧着ゴムが摩耗していないこと



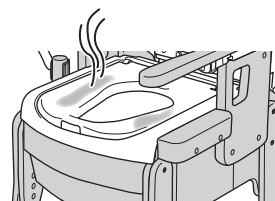
- ・電源コードが熱くなっていないこと
- ・傷んだり、挟み込んだりしていないこと



- ・焦げくさい臭いがしないこと
- ・異音・異臭がないこと



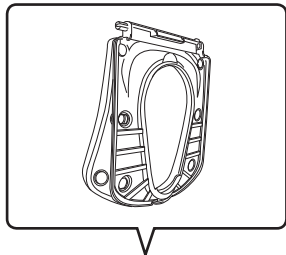
- ・便座が異常に熱くないこと（暖房便座タイプのみ）



交換部品

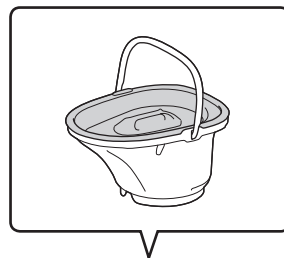
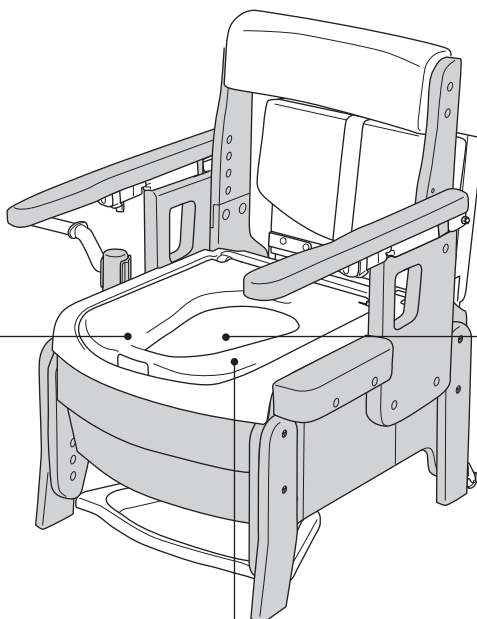
- 各部品が汚れたり、劣化・破損した場合は、お買い求めになった販売店へお問い合わせの上、部品を購入し、交換してください。

※ソフト便座タイプのみ



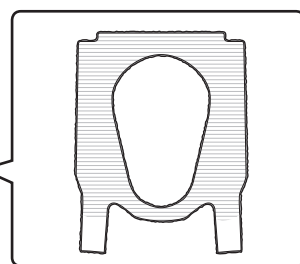
ソフト便座ベース板セット

交換方法は…P.37 へ



バケツ式

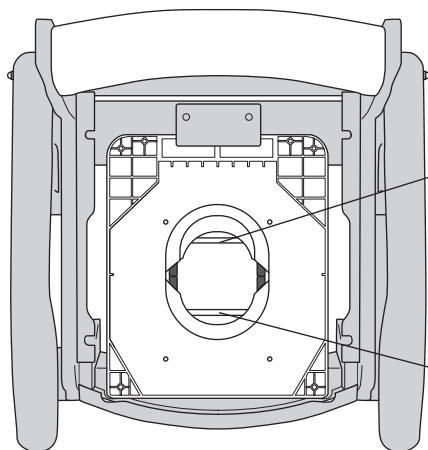
※標準便座タイプのみ



吸着便座シート

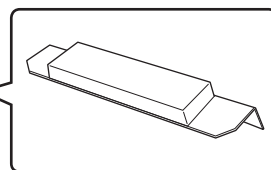
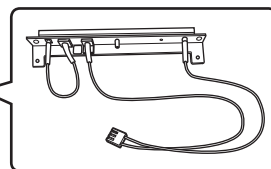
交換方法は…P.18 へ

■ラップユニット



ヒーター
(ラップユニット内部)

圧着ゴム
(ラップユニット内部)



※ヒーター、圧着ゴムの交換の目安は約2年です。
(1日5回利用想定)

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

バケツ使用の場合

お手入れしましょう

各種機能暖房便座

？困ったときには



各種機能／暖房便座

暖房便座タイプをお買い上げ
のお客様はご確認ください

組み立てかた

便座を本体に取り付ける

- ①暖房便座を本体に取り付けます。
※開梱時には暖房便座は取り付け
ています。

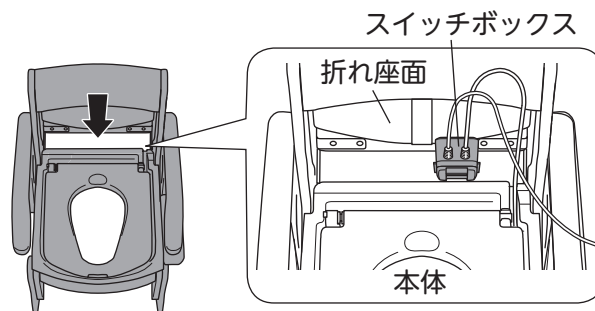
←便座の取り付けかたは…P.38 へ

- ②折れ座面を開けた状態でスイッチボックス
を折れ座面と本体の間に通します。

注意

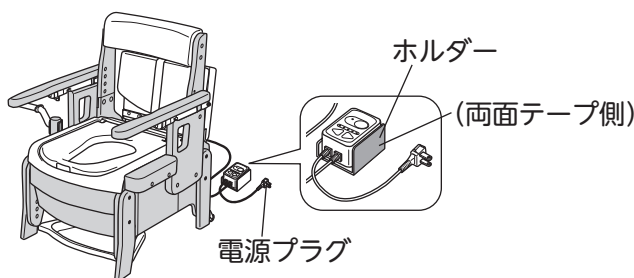


本体を傾けたり、倒したりする
ときは、乱暴に扱わないこと
故障の原因になります。



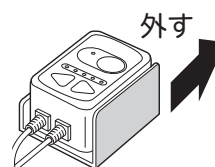
暖房便座のスイッチボックスを本体に固定する

スイッチボックスは、ポータブルトイレ本体の
左右のどちらにでも固定できます。



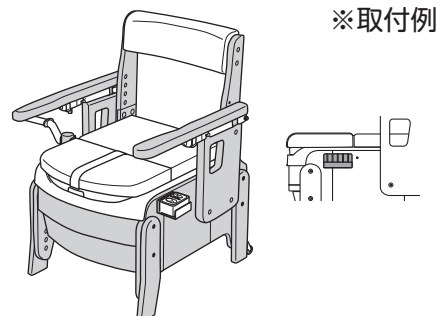
1. スwitchボックスからホルダーを外します

スイッチボックスからホルダーをスライドさせて
外します。



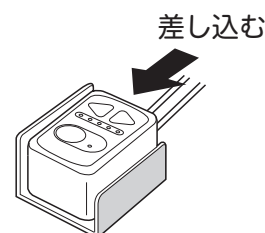
2. ホルダーを本体に固定します

ホルダーの離型紙を剥がし、本体の側面にしっかりと
固定してください。
この際、ペーパーホルダーなどのじゃまにならないよ
う注意してください。
※図は座って左側に取り付けた場合を示しています。



3. ホルダーにスイッチボックスを差し込みます

※図は座って左側に取り付けた場合を示しています。



確認
しまし
よう

！安全
上の
ご注
意

＊ご
使用
の前
に

使
い
ま
し
よ
う

バ
ケ
ッ
ト
イ
レ
使
用
の
場
合

お
手
入
れ
し
ま
し
よ
う

各
種
機
能
暖
房
便
座

？困
った
とき
に
は

暖房便座について

便座表面温度

室温 5℃ のとき、便座温度調節ランプの左端点灯（最低設定、黄色ランプ点灯）で約 30℃、右端点灯（最高設定、赤ランプ点灯）で約 40℃ となります。

警告



便座の暖房機能による低温やけどに注意すること

比較的低い温度でも長時間、皮膚の同じ場所に便座が触れていると低温やけどのおそれがあります。

・ 次のような方が使用されるときは、周りの方が便座の設定温度を「切」にしたり体温よりも低い温度へ調節してください。

見守り・介護の必要な方、ご自分で温度調節のできない方、皮ふの感覚が弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬・かぜ薬など）を服用された方や深酒、疲労の激しい方、子ども。

※万一、低温やけどをされたときは、ただちに専門医の診断を受けてください。

使いかた

温度調節のしかた

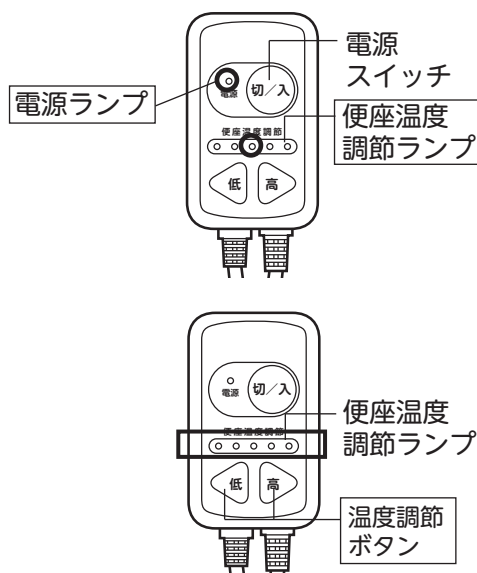
① 電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り **電源ランプ** と **便座温度調節ランプ** の中央ランプが点灯し、温度が上がり始めます。

② **温度調節ボタン** **低** **高** ボタンを押すとランプ表示が切り換わり、便座表面の温度調節ができます。

③ お好みの温度に調節してください。
※最低約 30℃～最高約 40℃（室温 5℃ のとき）の範囲で 5 段階に調節できます。

低温やけどを防ぐには、体温よりも低い温度で使用してください。

〈スイッチボックス〉



警告



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと
スイッチボックスを引っ張らないこと

スイッチボックスをホルダーに固定したまま便座・受け板を取り外さないこと

故障・破損の原因になります。

故障・破損したまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

🪑バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔥各種機能暖房便座

？困ったときには

? 困ったときには

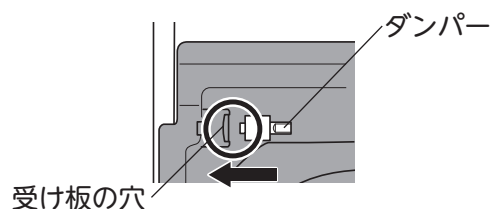
よくあるご質問

Q 便座のダンパーが外れてしまい、戻しかたがわかりません。

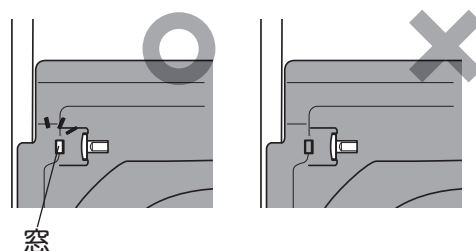


A. 以下の手順で取り付けてください。

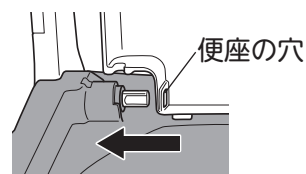
①受け板の穴に、ダンパーをまっすぐ差し込みます。



②穴の窓からダンパーの白い部分が見えるようにダンパーの向きを合わせ、しっかり差し込みます。



③ダンパーに便座の穴を合わせて差し込みます。



Q ラップ受けトレイは毎回洗わなくてもいいのですか？



A. 1回使用するごとにラップするので汚れません。万が一汚れた場合はうすめた中性洗剤で汚れを落とし、水洗いしてください。

Q トイレットペーパーを使うことはできますか？



A. 市販のトイレットペーパーをご使用いただけます。
トイレットペーパーがラップ部分に挟まらないよう、ご注意ください。

Q ラップ中に停電になりました。



A. 停電が回復するとラップを再開しますので、ラップが終了し、フィルムが切り離されるまで無理にひっぱらないでください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

場合 バケツ使用の

お手入れ しましょう

各種機能 暖房便座

? 困ったときには

ラップユニットのエラー

ラップユニットにエラーが発生すると動作が停止し、「ピピピピピー」という案内音が3回繰り返し鳴ります。リモコンのエラーの点滅と、表示されるエラーコードを確認し、表の内容にしたがって対処してください。



エラーコード	対処方法
E.11	ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.12	
E.21	ラップユニットに異物が挟まっている可能性があります。 P.49～50の「異物挟み込みエラー トラブルシューティング」をご確認ください。
E.22	
E.23	
E.24	
E.31	ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.32	
E.33	
E.34	
E.41	ヒーターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.42	ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.43	ヒーターが故障している可能性があります。 お買い上げの販売店へご相談ください。
E.44	
E.45	
E.46	ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.51	ヒーターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にヒーター交換のご相談をお願いいたします。
E.52	ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店に修理のご相談をお願いいたします。
E.53	ヒーターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。
E.61	フィルムの残量が少ない可能性があります。対処方法は動画でもご覧いただけます。 【フィルム残量が少ない場合】 フィルム切れの可能性があります。P.27～28の「フィルムカセットの交換のしかた」にしたがってフィルムカセットを交換してください。 【フィルムが残っている場合】 フィルムカセットが正しく装着できていない可能性があります。 P.39の「使用中のフィルムの取り外しかた」で外した後に P.40の「使用中のフィルムの取り付けかた」で再度取り付けてください。 上記の対処で改善されない場合は、ラップユニットが故障している可能性があります。お買い上げの販売店へご相談ください。 
E.71	ラップユニットが故障している可能性があります。 お買い上げの販売店へご相談ください。
E.91	
E.92	
E.93	
E.99	
上記以外のエラーコードが表示される場合は電源を再投入します。電源プラグを抜いてから、改めてコンセントに差し込んでください。	

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔥 各種機能暖房使用

？困ったときには

? 困ったときには

故障かな?と思ったら

本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

ラップユニット

こんなとき	確認してください	対処方法
電源が入らない (リモコンの画面が消えている)	電源が OFF 状態になっていませんか。	30 分以上使用しない状態が続くと電源が自動的に OFF になります。 リモコンのいずれかのボタンを押してください。 電源が ON になります。
	停電していませんか。ブレーカーが落ちていませんか。	ブレーカーが落ちている場合は、コンセントから電源プラグを抜いた後、ブレーカーを入れ、電源プラグを差し込んでください。
	電源コード、プラグが抜けていませんか。	電源コード、プラグを本体とコンセントにしっかり差し込んでください。
	上記以外	お買い上げの販売店にご連絡ください。
リモコンの作動ボタンを押してもラップしない	リモコンの画面が消えていませんか	電源が入っていません。上記の「電源が入らない」をご覧ください。
	電源プラグを差した後すぐリモコンの作動ボタンを押していませんか。	電源プラグをコンセントに差した後 10 秒ほど待ち、リモコンの画面が表示されていることを確認してから作動ボタンを約 1 秒長押ししてください。
	リモコンにエラーが表示されていませんか。	エラーの表示を確認し、P.46 の「ラップユニットのエラー」の対処方法にしたがってください。
	上記以外	お買い上げの販売店にご連絡ください。
使用中	リモコンの作動ボタンを押してからラップ動作が終了するまで 3 分以上かかる	エラーの表示を確認し、P.46 の「ラップユニットのエラー」の対処方法にしたがってください。
		上記以外 お買い上げの販売店にご連絡ください。
	床やラップ受けトレイへ汚物が漏れた	ラップしたフィルムに穴が開いていませんか。 P.26 の「ラップのし直ししかた」にしたがってラップをし直してください。
		凝固剤を入れ忘れていませんか。
		フィルムが切り離される前に無理にフィルムを引っ張っていませんか。 便座に座っていない状態で、改めて作動ボタンを 1 秒以上長押しし、空運転をしてラップを切り離してください。 その後、P.26 の「ラップのし直ししかた」にしたがって、再度ラップをし直してください。
		トイレトーパーや凝固剤がラップ部分に挟まっていませんか。
		便座に座って操作していませんか。 便座に座っていない状態で、改めて作動ボタンを 1 秒以上長押ししてください。
		フィルムやフィルムのカスがヒーターに貼りついていませんか。 P.39 「使用中のフィルムの取り外しかた」にしたがって、フィルムカセットを外してください。その後、P.28 の「5. ヒーター表面の汚れをふき取ります」にしたがって汚れをふき取ってください。

こんなとき		確認してください	対処方法
使用中	床やラップ受けトレイへ汚物が漏れた	圧着ゴムが摩耗していませんか。	圧着ゴムが劣化している可能性があります。圧着ゴムの交換をお買い上げの販売店にご相談ください。
		リモコンにエラーが表示されていませんか。	エラーの表示を確認し、P.46の「ラップユニットのエラー」の対処方法にしたがってください。
		フィルムカセットをセットせずに排泄していませんか。	ただちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。
		穴の開いたフィルムに排泄していませんか。	
		上記以外の場合。	お買い上げの販売店にご連絡ください。
	ラップ済みフィルムが切り離されない、または、切りにくい	トイレを上から見て、トイレットペーパーなどが挟まっていますか。	P.49～50の「異物挟み込みエラー トラブルシューティング」の内容をご確認ください。
		便座に座って操作していませんか。	
		フィルムがローラーから外れていませんか。	
		フィルムやフィルムのカスがヒーターに貼りついていませんか。	
		圧着ゴムが汚れていませんか。	P.37の「圧着ゴム（灰色）のお手入れ方法」にしたがい、圧着ゴムの汚れをふき取ってください。
		圧着ゴムが摩耗していませんか。	圧着ゴムが劣化している可能性があります。圧着ゴムの交換をお買い上げの販売店にご相談ください。
		上記以外の場合。	お買い上げの販売店にご連絡ください。
	ラップ中に停電になった	-	停電が回復するとラップを再開します。ラップが完了し、フィルムが切り離されるまで無理に引っ張らないでください。
	焦げ臭い・煙が出る	製品に近づかないでください。	ただちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。
付属品・消耗品	付属品が揃っていない	P.2の「購入品と梱包品の確認」をご確認ください。	付属品が揃っていない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	付属品を無くした・壊れた、消耗品がなくなった	-	お買い上げの販売店にご連絡ください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️ バケツ使用の場合

💧 お手入れしましょう

🔥 各種機能暖房使用

？困ったときには

? 困ったときには

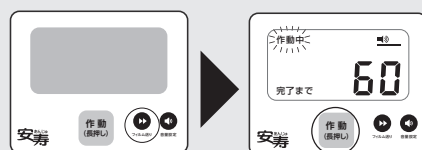
異物挟み込みエラー トラブルシューティング

以下の2つの状況に該当する方はラップユニットに異物が挟まっている可能性があります。

- ・ラップユニットのエラーコード E.21・22・23・24 が表示されている状況
 - ・ラップ済みフィルムが切り離せない、または切りにくい状況
- 下記のトラブルシューティングにしたがって、対応してください。
異物挟み込みエラーへの対処方法は動画でもご覧いただけます。



- ①ラップユニットに異物が挟まっている可能性があります。
「フィルム送りボタン」で異物を送ったあとに「作動ボタン」をもう一度押してラップ処理を試してください。

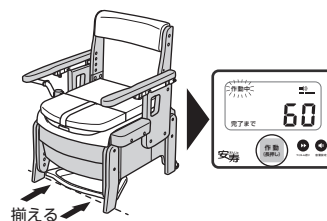


解決しない場合、異物を誤検知している可能性があります。
以下の矢印にしたがって内容を確認してください。

- ②処理済みのフィルムがラップ受けトレイにたまっていませんか？

はい

ラップ受けトレイのフィルムを取り除いたあと、作動ボタンを押してラップ処理をしてください。解決しない場合は次の③の内容をご確認ください。

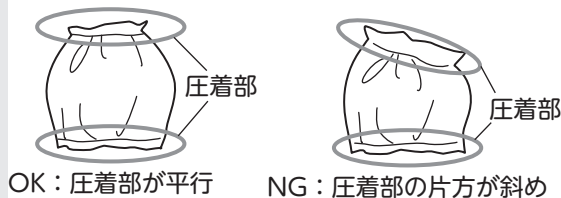


- ③座った状態で「作動ボタン」を押していませんか？

はい

座った状態で「作動ボタン」を押すとフィルム圧着部の厚さが不均一となり、異物と誤検知する場合があります。便座に座らずに、「作動ボタン」をもう一度押してください。解決しない場合は次の④の内容をご確認ください。

- ④フィルムが正しくセットされず、フィルム圧着部の厚さが不均一で異物と誤検知している可能性があります。取り出したフィルムの圧着部が平行または斜めかをご確認いただき、その状態に合わせて以下の矢印にしたがって内容を確認してください。



OK
圧着部
が平行

NG
圧着部
が斜め

※次ページに続く

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

🪑バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🛀各種機能暖房便座

? 困ったときには

※前ページの続き

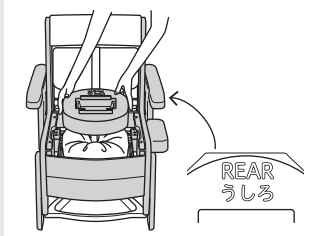
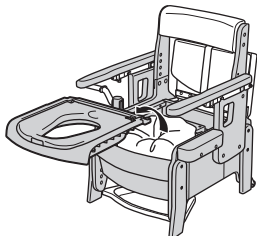
NG 圧着部が斜め

ラップユニットのローラーにフィルムを正しくセットします

④-1 電源プラグをコンセントから抜きます。その後、受け板ごと、便座と止水カバーを外します。

④-2 図のように、フィルムカセットの「うしろ」表示を背もたれ側にしてフタをセットします。

④-3 P.21~23の「ラップユニットにフィルムカセットを取り付けましょう」の4~8の手順を行ってください。



解決しない場合、以下の矢印にしたがって内容を確認してください。

OK
圧着部
が平行

⑤フィルムの切り離しが悪く、無理やり引っ張って引き離すような使い方をしていますか？

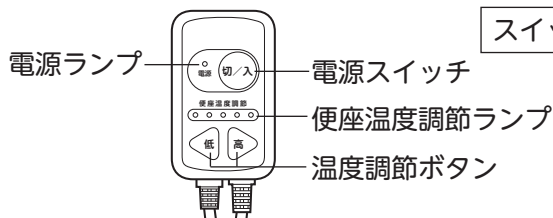
はい

各部に汚れや異物があり、圧着できていない可能性があります。
・ヒーター表面の異物や汚れをキレイにします
P.39「使用中のフィルムの取り外しかた」にしたがって、フィルムカセットを取り外し、P.28の「5. ヒーター表面の汚れをふき取ります」の手順で汚れをふき取ってください。
解決しない場合は次の⑥の内容をご確認ください。

いいえ

⑥解決しない場合は消耗品（ヒーター・圧着ゴム）の交換時期の可能性や、ラップユニットが故障している可能性があります。（消耗品交換目安：約2年 / 1日5回利用想定）お買い上げの販売店へご相談ください。

暖房便座



こんなとき	調べるところ・原因	処 置	参照ページ
電源スイッチ・暖房便座スイッチを押してもランプが点灯しない	・電源プラグが確実に差し込まれていますか	・電源プラグを差し込みなおす	
便座があたたかくない	・電源が「切」になっていませんか ・設定温度が低くなっていませんか	・電源を「入」にする ・設定温度を高くする	P.44
便座が熱い	・設定温度が高くなっていませんか	・設定温度を低くする	P.44
電源ランプ・暖房便座ランプが点滅し、便座があたたかくない	・異常を感知し、ヒーター通電が遮断されました	・電源プラグを抜いていただき、10秒以上放置後に改めてコンセントに差しして使用してください。再び同じ現象が発生する場合はヒーターが故障した可能性があるため、ただちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	

※上記の問題が直らなかった場合は、ただちに電源プラグを抜いて、まずお買い上げの販売店にご相談ください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

🗑️バケツ使用の場合

💧お手入れしましょう

🔌各種機能暖房便座

？困ったときには

保証とアフターサービス よくお読みください

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書(取扱説明書)を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後3年となります。

ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。

2. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

3. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。

1) 保証書のご提示がない場合。

2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。

4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。

5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障または損傷。

6) 消耗品の損傷及び汚れ。

7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。

4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

5. 電気部品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。

6. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。

なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。

2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒 TEL
★販売店	住 所 〒 TEL

★印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、ご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

TOAGOSEI グループ



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

26.02

919309